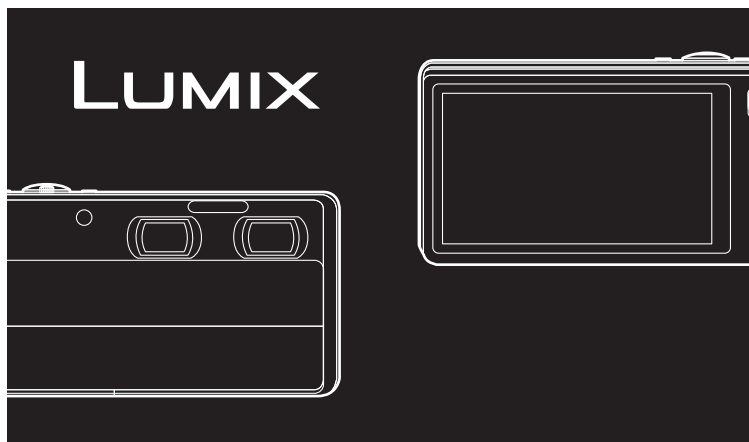
Panasonic®

取扱説明書

デジタルカメラ

品番 DMC-3D1

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（140 ～145ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

HDMI

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

VQT3U36

目次

目的別かんたん目次 / 特長 5

はじめに

ご使用の前に 6
付属品 7
各部の名前 8
タッチパネルを使う 9

準備

バッテリーを充電する 10
　充電する 10
　使用時間と撮影枚数の目安 12
バッテリー/カード(別売)を入れる・取り出す 13
内蔵メモリー/カードについて 14
　記録可能枚数・時間の目安 15
電源を入れる・切る 16
時計を設定する 17
　時計設定を変更する 17

基本

本機の構え方について 18
　ストラップを取り付けて正しく構える 18
　手ブレを防ぐために 18
ピントの合わせ方 19
3D写真を撮る 20
3D動画を撮る 22
3D写真・3D 動画を見る 23
2D撮影のモードを選ぶ 25
2D写真を撮る（[カメラ]:通常撮影モード） 26
カメラにおまかせで撮る（iA:インテリジェントオートモード） 27
2D動画を撮る 29
動画撮影中に写真を記録する 31
写真を見る（通常再生） 32
　画像を送る 32
　複数の画像を一覧表示する（マルチ再生） 33
　再生画面を拡大する（再生ズーム） 33
動画を見る 34
　動画から写真を作成する 35
画像を消去する 36
　1枚消去 36
　複数消去/全画像消去 36
メニューを使って設定する 37
　メニューの設定方法 37
　よく使うメニューを簡単に呼び出す（ショートカット設定） 39
セットアップメニューを使う 40

撮影

液晶モニターの表示を切り換える 48
タッチ操作で写真を撮る（タッチシャッター機能） 49
タッチ操作で狙った被写体にピントや露出を合わせる（タッチAF/AE） 50
ズームを使って撮る 51
　光学ズーム/EX光学ズーム（EZ）/iAズーム/デジタルズームで撮る 51
　タッチ操作でズームを使う 52

→「安全上のご注意」を必ずお読みください（140～145ページ）

画角の異なる画像を同時に撮る（[LR]:ワイド&ズーム同時撮影モード）...................... 53

撮影シーンに合わせて撮る（SCN:シーンモード）................ 54

人物 54
美肌 54
変身 54
自分撮り....................................55
風景 55
パノラマアシスト.........................55
スポーツ 56
夜景&人物 56
夜景 56
手持ち夜景 56
料理 56
パーティー.................................56
キャンドル.................................57
赤ちゃん1/赤ちゃん2...57
ペット 57
夕焼け 57
高感度 58
フラッシュ連写..........................58
星空 58
花火 58
ビーチ 58
雪..59
空撮 59
ピンホール.................................59
サンドブラスト...........................59
ハイダイナミック........................59
フォトフレーム...........................59

個人認証機能を使って撮る 60

顔画像を登録する 61

文字を入力する 63

撮影メニューを使う.................... 64

フラッシュ 64
セルフタイマー............................67
画像横縦比....................................67
記録画素数....................................68
クオリティ 68
ISO感度 69
ホワイトバランス 70
オートフォーカスモード...............72
マクロ撮影モード 73
クイックAF 74
個人認証 74
露出補正 75
暗部補正.......................................76
下限シャッター速度 77
超解像..77
デジタルズーム 78
連写...78
カラーモード................................79
AF補助光......................................79
デジタル赤目補正 80
手ブレ補正....................................80
日付焼き込み 81
3D視差調整 81
時計設定.......................................81

動画撮影メニューを使う 82

撮影モード....................................82
画質設定 82
AF連続動作 83
風音低減.......................................83

目次（続き）

「安全上のご注意」を必ずお読みください（140～145ページ）

再生・編集

いろいろな再生方法 84
- スライドショー 84
- 絞り込み再生 86
- 2画面再生 87
- カレンダー検索 87

再生メニューを使う 88
- WEB アップロード設定 88
- タイトル入力 90
- 文字焼き込み 91
- 動画分割 93
- リサイズ（縮小）画像サイズ（画素数）を小さくする ... 94
- トリミング（切抜き）画像を切り抜く 95
- お気に入り 96
- プリント設定 97
- プロテクト 99
- 認証情報編集 100
- 画像コピー 内蔵メモリーの画像をコピーする ... 101

他の機器との接続

テレビで見る 102
- ビエラリンク (HDMI) を使う 104

記録した写真や動画を残す 106
- SDカードをレコーダーに入れてダビングする 106
- AVケーブルを使って再生映像をダビングする 106

パソコンと接続する 107
- 「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに取り込む 109
- 写真、[MP4]動画を取り込む（3D動画、[AVCHD]動画以外）... 112
- 画像を共有サイトへアップロードする 113

プリントする 114
- 画像を選んで１枚ずつプリントする 115
- 複数の画像を選んでプリントする 115
- プリントの各種設定 116
- 画像に日付を入れるには 117

その他・Q & A

別売品のご紹介 118

海外旅行先で使う 119

液晶モニターの表示 120

メッセージ表示 122

Q & A　故障かな？と思ったら 124

使用上のお願い 131

仕様 138

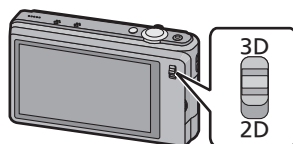
保証とアフターサービス（よくお読みください）.......... 146

さくいん 150

目的別かんたん目次 / 特長

● 3D写真を撮りたい ● 3D動画を撮りたい	3D写真 3D動画	→P20 →P22
● 画角の異なる画像を同時に撮りたい	ワイド&ズーム同時撮影	→P53
● 動画撮影中に写真を記録したい	動画中写真撮影	→P31
● カメラにおまかせでシーンに最適の撮影をしたい	iA インテリジェントオート SCN シーン	→P27 →P54
● 明るさを好みに合わせて写真を撮りたい	露出補正	→P75
● 撮りたいものにピントを合わせたい	オートフォーカス	→P72
● タッチパネルで撮りたい	タッチシャッター機能 タッチ AF/AE	→P49 →P50
● 決定的瞬間を逃さず撮りたい	連写	→P78
● 暗いところできれいに撮りたい	ISO ISO感度	→P69
● 自然な色合いにして撮りたい	WB ホワイトバランス	→P70
● よく使うメニューをすぐに呼び出したい	ショートカット設定	→P39
● フルハイビジョン動画を撮りたい	AVCHD動画	→ P29,82
● パソコンでの再生などに適した動画を撮りたい	MP4動画	→ P29,82
● 撮影した写真･動画をスライドショーで楽しみたい	スライドショー	→P84
● ハイビジョンテレビで写真･動画を見たい	HDMI接続	→P102
● 付属のソフトウェアを使いたい	PHOTOfunSTUDIO	→P109
● 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずに画像をパソコンに取り込みたい	USB接続	→P112

■ 本機の主な特長

本機は2つのレンズを搭載しており、多彩な撮影が楽しめます。3D/2D切り換えスイッチで、以下の機能を使い分けることができます。

3D/2D切り換えスイッチが[3D]のとき

- 3D写真･3D動画を簡単に撮影できます。(P20、22)
- 3D対応テレビに接続すると、本機で撮影した3D画像を3Dで見ることができます。(P23)
  (本機では3D画像は2Dで再生されます)

3D/2D切り換えスイッチが[2D]のとき

- 従来の2D写真･2D動画を撮影できます。(P26、29)
- ワイド & ズーム同時撮影モードで、画角の異なる画像を同時に撮影できます。(P53)
- 左レンズで動画を撮影中に、右レンズで写真を記録できます。(P31)

ご使用の前に

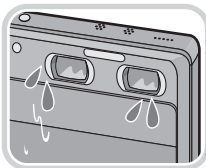
■ 本機の取り扱いについて…

レンズカバーのシールをはがしてからお使いください。
本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  - ・本機を落とす、またはぶつける
  - ・本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
  - ・本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
  - ・レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  - ・砂やほこりの多いところ
  - ・雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて(レンズや液晶モニターが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニター汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

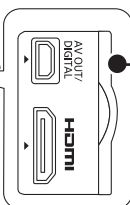
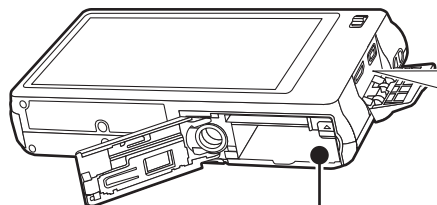
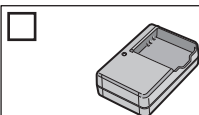
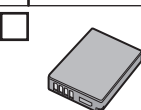
■「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P131)

付属品

付属品をご確認ください。

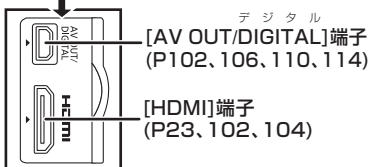
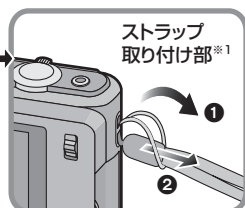
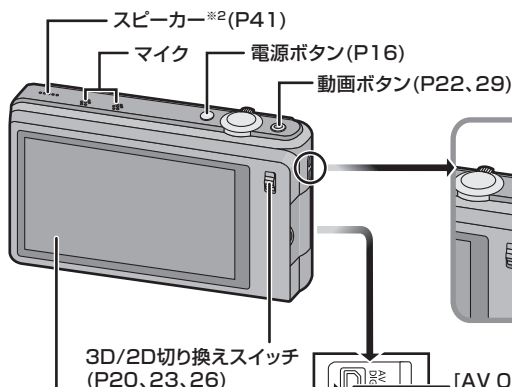
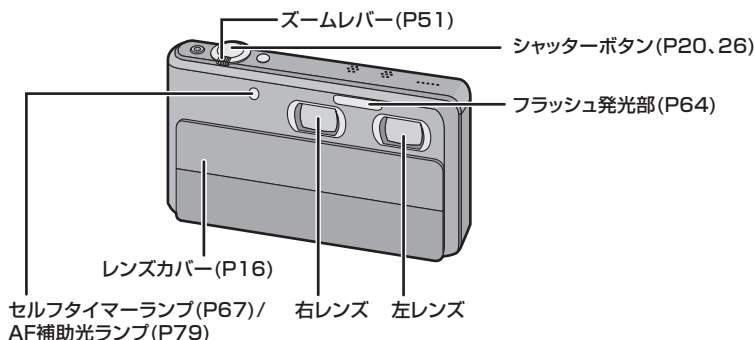
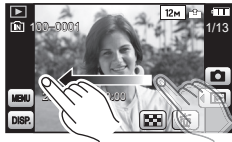
記載の品番は2011年10月現在のものです。変更されることがあります。

ハンドストラップ
VFC4297

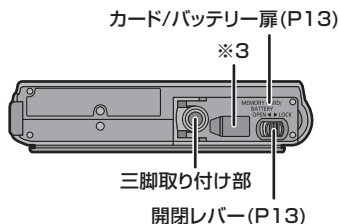
CD-ROM
- パソコンにソフトウェアをインストールしてお使いください。

USB接続ケーブル
K1HY08YY0017

バッテリーチャージャー
DE-A65A
（本文中では**チャージャー**と表記します）

バッテリーパック
DMW-BCG10
（本文中では**バッテリー**と表記します）
- 充電してからお使いください。

タッチペン
VGQ0C14

- **カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。**
- 別売品については118 ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前

※1 **落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。**

※2 スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

※3 本機はACアダプターおよびDCカプラーに対応していません。

タッチパネルを使う

本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。

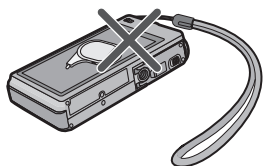
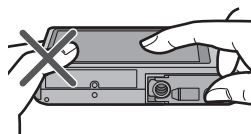
タッチする タッチパネルを押して離す動作です。	ドラッグする タッチパネルを押したまま動かす動作です。
タッチパネルに表示されるアイコンや画像を選択するときなどに使います。 ●複数のアイコンを同時にタッチすると、正常に動作しないおそれがありますので、アイコンの中央付近をタッチしてください。	画面を水平にドラッグして画像を送ったり、表示している画像の範囲を変更するときなどに使います。 また、スライドバーを操作して画面を切り換えるときなどにも使います。

お知らせ

- 市販の液晶保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
  （液晶保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 市販の保護シートを貼り付けて使用している場合や、反応しにくいと感じるときは、**少し強めにタッチしてください。**
- 本機を持つ手がタッチパネルを押さえていると、タッチパネルは正常に動作しません。
- 付属のタッチペン以外の先のとがったものや硬いもので押さないでください。
- 爪を立てて操作しないでください。
- 強い力でこすったり、押したりしないでください。
- 指紋などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。
- タッチパネルに表示されるアイコンについては、120ページの「液晶モニターの表示」をお読みください。

■ タッチペンについて

指で操作しにくい場合など、細かな作業には、タッチペン（付属）が便利です。

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 収納時はタッチペンと液晶モニター（タッチパネル）を重ねないようにしてください。強い圧力がかかると、液晶モニター（タッチパネル）が壊れる原因になります。

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2011年10月現在)

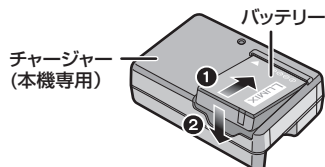
本機で使えるバッテリーはDMW-BCG10です。

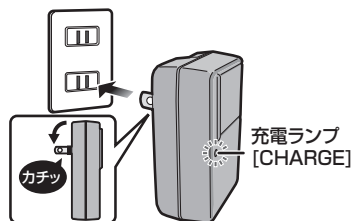
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、バッテリーを差し込む

2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。

■ 充電ランプの表示について

点灯:　充電中
消灯:　充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

- 点滅するときは
  - ・バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。
  - ・チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

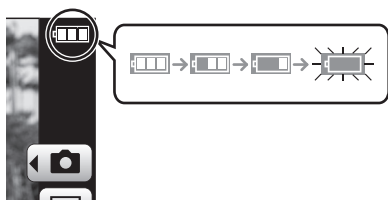
■ 充電時間について

充電時間	約130分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

■ バッテリー残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。

- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。
  バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

準備

お知らせ

- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)

バッテリーを充電する（続き）

使用時間と撮影枚数の目安

■ 写真記録（条件はCIPA規格で通常撮影モード時）

	3D 撮影時	2D 撮影時
記録可能枚数	約200枚	約200枚
撮影使用時間	約100分	約100分

CIPA規格による撮影条件
- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。
- 温度23 ℃/湿度50%RH、液晶モニターを点灯
- 当社製のSDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正[ON]設定時）
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。[例えば2分に1回撮影した場合は、上記（30秒に1回撮影）の枚数の約1/4になります]

■ 動画撮影

	3D 撮影時	2D 撮影時	
		AVCHD（画質設定[FSH]）	MP4（画質設定[FHD]）
撮影可能時間	約 50 分	約 70 分	約 70 分
実撮影可能時間	約 25 分	約 30 分	約 30 分

- 温度23 ℃/湿度50%RH の環境下での時間です。時間は目安にしてください。
- 実撮影可能時間とは、電源の入り/切り、撮影の開始/終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 3D動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- [AVCHD]の[FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- [MP4]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

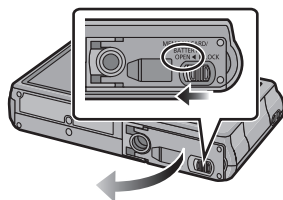
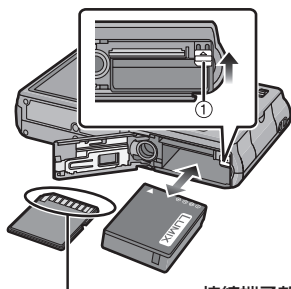
■ 再生

再生使用時間	約160分

お知らせ
- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間は少なくなり、撮影枚数は減少します。
  ・スキー場などの低温下
  ・[液晶モード]使用時
  ・フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 正しく充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

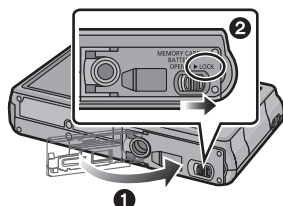
バッテリー/カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が切れていることを確認する。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをお勧めします。

1 開閉レバーをOPEN側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開く

2 バッテリー：
向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、
バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

接続端子部
端子部には触れないでください。

向きを確認

3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる
❷開閉レバーをLOCK側にスライドさせる

お知らせ
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。（長期間放置すると、バッテリーは消耗します）
- カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が完全に消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

内蔵メモリー/カードについて

本機では以下のように動作します。
- **カードを挿入していない場合:**
  内蔵メモリーで画像の記録・再生
- **カードを挿入している場合:**
  カードで画像の記録・再生

内蔵メモリーの場合
[IN] [→IN](アクセス表示※)
カードの場合
(アクセス表示※)
※アクセス時は赤く表示します。

内蔵メモリー

- **記録した画像はカードにコピーすることができます。(P101)**
- **容量:約70 MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

	備考
SDメモリーカード(8 MB～2 GB)/ miniSDカード※1/microSDカード※1	● **動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。** ● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。 ● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。 ● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 **http://panasonic.jp/support/sd_w/** ● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード (48 GB、64 GB)	

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。
(例) CLASS④ ④

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/dsc/

お知らせ

- **アクセス表示点灯中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカードを取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。**
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P46)

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数・時間の表示について

- 記録可能枚数と時間は、[DISP.]を数回タッチして確認できます。(P48)
- 記録可能枚数・時間は目安です。(撮影条件、カードの種類によって変化します)
- 被写体により記録可能枚数・時間は変化します。

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 残り枚数が 100000枚以上の場合は、[+99999]と表示されます。

3D 撮影時

記録画素数	内蔵メモリー(約 70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
8M (4:3)	7	220	3660	7370
6M (16:9)	9	260	4260	8520

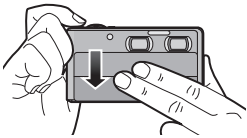
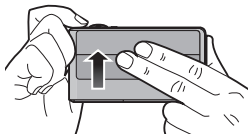
2D 撮影時(画像横縦比 [4:3]、クオリティ [▲▲▲] の場合)

記録画素数	内蔵メモリー(約 70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
12M	13	380	6260	12670
5M(EZ)	24	650	10620	21490
0.3M(EZ)	380	10050	162960	247150

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h:時間、m:分、s:秒)

3D 撮影時

画質設定	内蔵メモリー(約 70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
1920×1080	—	14m00s	4h10m	8h27m

2D 撮影時

画質設定	内蔵メモリー(約 70 MB)	2 GB	32 GB	64 GB
FSH(AVCHD)	—	14m00s	4h10m	8h27m
SH (AVCHD)	—	14m00s	4h10m	8h27m
FHD(MP4)	—	12m15s	3h23m10s	6h51m9s
HD (MP4)	—	23m24s	6h27m53s	13h4m56s
VGA(MP4)	1m41s	51m30s	14h13m41s	28h47m30s

お知らせ

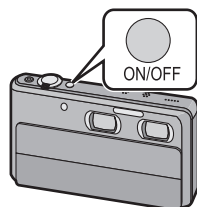
- [WEBアップロード設定]を行うと、カードの記録可能枚数・時間が減少することがあります。
- 3D動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- [AVCHD]の[FSH]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。
- [MP4]で動画を連続で撮影できるのは、最大29分59秒までです。ただし、1つの動画で最大4 GBまでしか撮影できません。画面には、連続で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

電源を入れる・切る

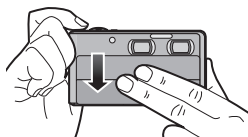
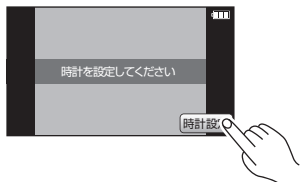
レンズカバーまたは電源ボタンで電源を入れる/切ることができます。
撮影時はレンズカバーを下げてください。

電源を入れる	電源を切る
レンズカバーを下げる	レンズカバーを上げる
●電源ボタンを長めに押しても電源を入れることができます。	●電源ボタンを押しても電源を切ることができます。

お知らせ

- レンズカバーが上がっている状態で電源ボタンを押して電源を入れると、メッセージが表示されます。レンズカバーを下げてください。
- レンズカバーが下がっている状態で電源が切れているときは、電源ボタンを長めに押して電源を入れてください。

時計を設定する

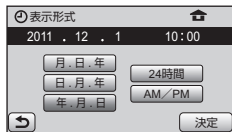
● お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源を入れる

2 [時計設定]をタッチする

3 合わせたい項目(年・月・日・時・分)をタッチして、[▲]/[▼]で設定する

- [▲]/[▼]をタッチしたままにすると、連続して設定内容を切り換えることができます。
- [⮌]をタッチすると、時計を設定せずに中止することができます。

:ホームの時間
:旅行先の時間

[表示順・時刻表示形式]を設定する場合

- [表示形式]をタッチすると、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

4 [決定]をタッチして決定する

5 確認画面で[決定]をタッチする

時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P37)

- 上記の手順**3**、**4**の操作で変更できます。
- **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に24時間入れてください)**

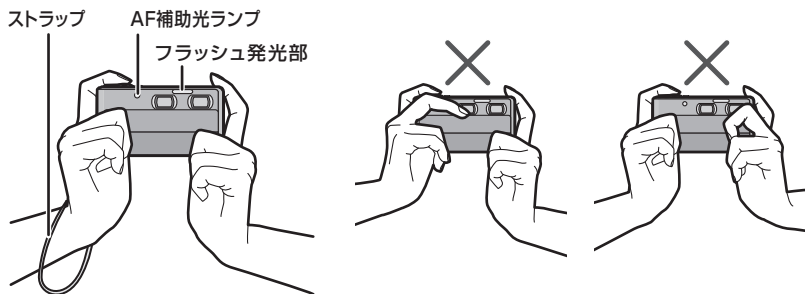
お知らせ

- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや[日付焼き込み]、[文字焼き込み]を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。
- 時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。

本機の構え方について

ストラップを取り付けて正しく構える

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **落下防止のため、必ず付属のストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。****(P8)**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカー、レンズ部などに指がかからないようにしてください。

■ 縦位置検出機能について([回転表示])

本機を縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P46)設定時)

- 本機を縦に構えた状態で、上に向けたり下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。
- 3D写真の縦撮影には対応していません。

手ブレを防ぐために

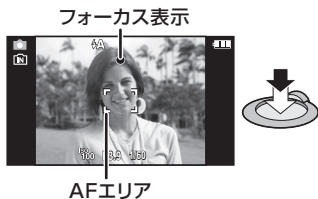
手ブレ警告表示[((📷))]が表示されたときは、手ブレ補正(P80)、三脚、セルフタイマー(P67)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  - ・赤目軽減スローシンクロ
  - ・シーンモードの [パノラマアシスト]/[夜景&人物]/[夜景]/[パーティー]/[キャンドル]/[星空]/[花火]/[ハイダイナミック]
  - ・[下限シャッター速度]設定でシャッタースピードを遅くしたとき

ピントの合わせ方

被写体をAFエリアに合わせて、シャッターボタンを半押しする

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	白→緑	白→赤
音	ピピッ	ピピピピッ

フォーカス表示

AFエリア

● デジタルズーム時や暗いとき、AFエリアは大きく表示されます。

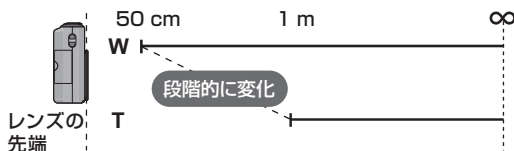
■ ピントの合う範囲について

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。

● シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

撮影可能範囲表示

例)通常撮影モード時のピントの合う範囲

■ ピントが合わないとき(被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど)

1 被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する

2 シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かし、撮影する

● 手順 **1** の操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

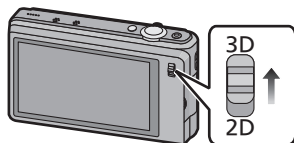
■ ピントが合いにくい被写体や撮影環境

動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの/
ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき/
暗いときや手ブレしているとき/
被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

3D写真を撮る

本機に搭載された2つのレンズで3D写真を撮影できます。

- 3D写真はMPO形式で保存されます。本機ではMPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。
- 以下の機能が自動的に働きます。
  ・[ISO感度]の[オート]/オートホワイトバランス/クイックAF/超解像/AF補助光/手ブレ補正

1 3D/2D 切り換えスイッチを[3D]にする

2 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

- **被写体に近づきすぎないでください。**
  被写体までの距離が近すぎると、3D警告表示[⊘3D]が表示されます。ズーム倍率により3D撮影の推奨距離は変わります。(P21)
- **レンズに指がかからないようにお気をつけください。**
  3D撮影時は右レンズの画像は画面に表示されません。レンズに指などがかかると、3D警告表示[⊘3D]が表示されます。
- ピントが合うと、フォーカス表示(緑)が点灯します。
- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。(フラッシュ発光時を除く)

4 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

●立体効果を上手に得るため、被写体までの距離を以下の範囲内にして撮影することをお勧めします。この範囲外では左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。
●以下の推奨距離より近い被写体を撮影すると、シャッターボタン半押し時に視差の自動調整を行うため画角が変化することがあります。記録される3D写真はシャッターボタン半押し時の画角になります。

3D撮影の推奨距離範囲

3D写真撮影時には以下の点にお気をつけください。
・できるだけ本機を水平にして撮影してください。 ・被写体に近づきすぎないでください。 ・乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。

お知らせ

●3D写真の縦撮影には対応していません。

設定を変更する

設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[フラッシュ]※ /[セルフタイマー]/[記録画素数]※/[オートフォーカスモード]※ /[露出補正]/[3D視差調整]/[時計設定]

●メニューの設定方法については37ページをお読みください。
※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

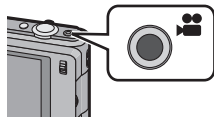
基本

3D動画を撮る

- 本機で撮影できる3D動画はサイドバイサイド(2画面構成)方式です。画質は1920×1080画素に固定されます。サイドバイサイド方式で3D動画を撮影するため、撮影される3D動画はハイビジョン映像とは画質が異なります。
- 以下の機能が自動的に働きます。
  ・[ISO感度]の[オート]/オートホワイトバランス/AF連続動作/手ブレ補正

1 3D/2D切り換えスイッチを[3D]にする

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- **被写体に近づきすぎないでください。**
- **レンズに指がかからないようにお気をつけください。**

3 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 立体効果を上手に得るため、被写体までの距離を以下の範囲内にして撮影することをお勧めします。この範囲外では左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。
  ・約90 cm(W端時)/約3.4 m(T端時)～∞

3D動画撮影時には以下の点にお気をつけください。
- ・できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- ・被写体に近づきすぎないでください。
- ・本機を動かして撮影するときは、ゆっくりと動かしてください。
- ・乗車中や歩行中などは、できるだけ本機を揺らさないようにして撮影してください。

お知らせ

- 3D動画を連続で撮影できるのは最大29分59秒までです。周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行った場合は、[ ]が表示され、途中で撮影が停止することがあります。
- 3D動画は内蔵メモリーには記録できません。
- 3D動画撮影中はズーム操作できません。
- 安定した動画を撮影するために、三脚の使用をお勧めします。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
  [動画記録枠表示](P43)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。

3D写真・3D動画を見る

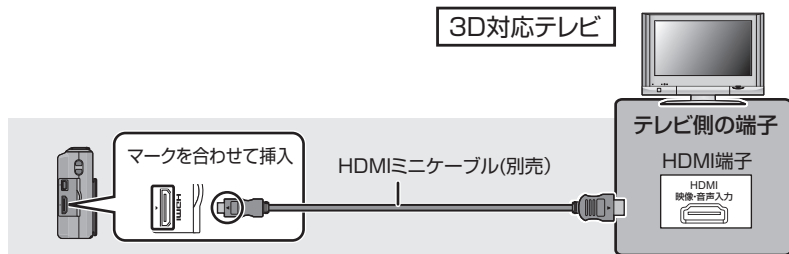
撮影した3D画像を本機の液晶モニターで再生する場合は、2D（従来の画像）で再生されます。本機で再生する方法については32、34ページをお読みください。
本機と3D対応テレビを接続して再生すると、迫力ある3D写真や動画を楽しむことができます。
3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真や動画を再生することもできます。

本機で撮影した3D画像を再生できる機器についての最新情報は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

1 本機の3D/2D切り換えスイッチを [3D] にする

- 3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、[2D]に切り換えてください。3D画像が 2D再生されます。

2 HDMIミニケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する（P102）

3D対応テレビ

- [ビエラリンク]（P46）を[ON]に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。
詳しくは、104ページをお読みください。
- 3D記録された画像には、再生時のサムネイル表示に[3D]が表示されます。

■ 3D記録した写真と動画のみをスライドショーで 3D 再生する

再生モードの[スライドショー]で [3D] を選んでください。（P84）

■ 3D記録した写真と動画のみを選んで 3D 再生する

再生モードの[絞り込み再生]で[3D]を選んでください。（P86）

3D写真・3D動画を見る（続き）

■ 3D画像の表示について

● HDMI ミニケーブル（別売）でテレビと接続時

テレビの種類	3D/2D切り換えスイッチ	テレビでの表示
3D対応テレビ	[3D]	3D
	[2D]	2D（左レンズで撮影された画像を表示）
3D非対応テレビ	[3D]	2D（左右のレンズで撮影された画像を２画面表示）
	[2D]	2D（左レンズで撮影された画像を表示）

● SDカードスロット付きテレビにカードを挿入時

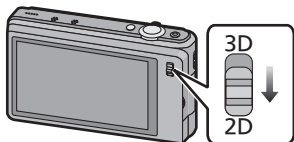
テレビの種類	テレビでの表示
3D対応テレビ	3D
3D非対応テレビ	2D（左レンズで撮影された画像を表示）

● SDカードスロット付きレコーダーにカードを挿入時も、出力先のテレビの種類に依存します。

お知らせ

● テレビとつないでの3D再生時は、セットアップメニュー、再生メニューは使えません。
● 3Dの視聴に適さない画像（視差が大きすぎるなど）を再生時は以下の動作になります。
　・[スライドショー]: 2Dで再生されます
　・[絞り込み再生]: 3Dで再生するかの確認画面が表示されます
● 3D記録した画像と2D記録した画像を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
● 3D画像のサムネイルを選択時、または3D画像再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
● お使いの3D対応テレビによっては3Dモードへの切り換えが遅く、動画の最初の場面が見えない場合があります。再生の一時停止を利用されると便利です。
● 3D画像の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
● テレビが3Dに切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。
（詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください）
● レコーダーやパソコンに3D写真や動画を保存することができます。詳しくは106ページをお読みください。

2D撮影のモードを選ぶ

1 3D/2D切り換えスイッチを[2D]にする

2 撮影状態で[ ]をタッチする

- 再生モードから操作するときは、[ ]をタッチして撮影モードに切り換えてから[ ]をタッチしてください。

3 撮影モードアイコンをタッチする

撮影モード一覧

通常撮影モード P26

お好みの設定で撮影します。

インテリジェントオートモード P27

カメラにおまかせで撮影します。

ワイド&ズーム同時撮影モード P53

画角の異なる画像を同時に撮影します。

SCN シーンモード P54

撮影シーンに合わせて撮影します。

お知らせ

- 再生モードから撮影モードに切り換えたときは、前回設定した撮影モードになります。

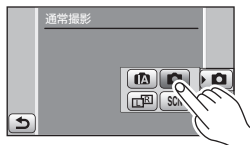
基本

2D写真を撮る（[カメラ]: 通常撮影モード）

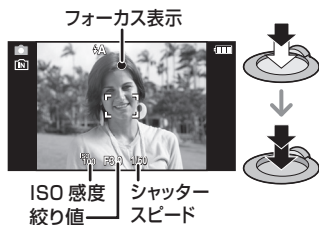
3D/2D切り換えスイッチを切り換えることで、2D写真の撮影ができます。
ここでは被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定する通常撮影モードで説明しています。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 3D/2D切り換えスイッチを[2D]にする

2 撮影状態で[◀[カメラ]]をタッチする

3 [[カメラ]]をタッチする

4 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる

5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 2D画像は左レンズで撮影されます。
- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- ズーム倍率により最至近距離（もっとも被写体に近づける距離）は変わります。画面の撮影可能範囲表示で確認してください。（P19）
- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードが赤くなります。（フラッシュ発光時を除く）

カメラにおまかせで撮る（iA：インテリジェントオートモード）

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

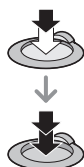
● 以下の機能が自動的に働きます。
  · 自動シーン判別/逆光補正/インテリジェントISO/オートホワイトバランス/顔認識/クイックAF/暗部補正/超解像/iAズーム/AF補助光/デジタル赤目補正/手ブレ補正/AF連続動作
● 画質は[ ]に固定されます。

1 3D/2D 切り換えスイッチを [2D] にする

2 撮影状態で [ ] をタッチする

3 [iA] をタッチする

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

● 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。
● 被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。詳しくは 50ページをお読みください。

基本

設定を変更する

設定できるメニューは以下のとおりです。

メニュー	項目
撮影	[フラッシュ]※ /[セルフタイマー]/[記録画素数]※/[連写]/ [カラーモード]※ /[ブレピタモード]/[i手持ち夜景]/[個人認証]
動画	[撮影モード]/[画質設定]
セットアップ	[時計設定]/[ワールドタイム]/[操作音]※ /[手ブレ補正デモ]

● メニューの設定方法については37ページをお読みください。
※ 他の撮影モードと設定できる内容が異なります。

● インテリジェントオートモード独自のメニューについて
  · [カラーモード]で[HAPPY]の色彩効果を設定できます。自動で色の明るさと鮮やかさが引き立った画像を撮影できます。
  · [ブレピタモード]を[ON]に設定すると、撮影画面に[ ]が表示されます。被写体の動きに応じて最適なシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。
  （その際、画素数が減少する場合があります）
  · [i手持ち夜景]を[ON]に設定し、手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し 1 枚の画像に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。三脚などでカメラを固定しているときは、[ ]と判別されません。

■ フラッシュについて

- [i⚡A]選択時は、被写体の種類や明るさに応じて、[i⚡A]、[i⚡A◎]、[i⚡S◎]、[i⚡S]になります。
- [i⚡A◎]、[i⚡S◎]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [i⚡S◎]、[i⚡S]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

写真撮影時

iA →

i人物	i風景	iマクロ	i夜景&人物 ・[i⚡A]選択時のみ
i夜景	i手持ち夜景※1	i夕焼け	i赤ちゃん※2

※1 [i手持ち夜景]を[ON]に設定時のみ表示されます。
※2 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

動画撮影時

iA →

i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ

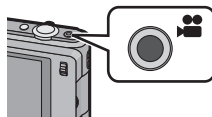
- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**（顔認識）**
- [i手持ち夜景]と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは最大8秒となります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん]の右上に[R]が表示されます。
- 以下のような条件によって、同じ被写体でも異なるシーンに判別される場合があります。
  - ・被写体条件
    顔の明暗/被写体の大きさ・色/被写体までの距離/被写体の濃淡/被写体が動いているとき
  - ・撮影条件
    夕暮れ/朝焼け/低照度/手ブレが発生したとき/ズーム倍率
- 意図したシーンで撮影したい場合は、目的に合った撮影モードで撮影することをお勧めします。
- **逆光補正について**
  - ・逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。本機では、逆光補正が自動で働きます。

2D動画を撮る

使えるモード：[iA] [■] [LR] [SCN]

1 3D/2D切り換えスイッチを[2D]にする

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 2D画像は左レンズで撮影されます。
- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- [撮影モード]および[画質設定]の設定については、82ページをお読みください。

3 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

お知らせ

- 画質設定が[FSH]の場合、連続で動画を撮影できるのは最大29分59秒までです。周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行った場合は、[ ]が表示され、途中で撮影が停止することがあります。
- 内蔵メモリーには[MP4]の[VGA]のみ記録できます。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 動画撮影中にズーム操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影可能範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で同じ場合でも、動画撮影開始時に画角が変わる場合があります。[動画記録枠表示](P43)を[ON]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 一部のシーンモードでは、以下のような分類で撮影されます。下記以外では、それぞれのシーンに合った動画を撮影できます。

選択されているシーンモード	動画撮影時のシーンモード
[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]	人物モード
[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]	ローライトモード
[パノラマアシスト]、[スポーツ]、[ペット]、[フラッシュ連写]、[花火]、[フォトフレーム]	通常動画

2D動画を撮る（続き）

使えるモード：[iA][●][LR][SCN]

■ 動画記録方式について

本機はAVCHD、MP4の２種類の記録方式で2D動画撮影ができます。

AVCHDとは：

高精細なハイビジョン映像を記録できます。ハイビジョン対応テレビでの鑑賞や、ディスクの保存に適した記録方式です。

MP4とは：

単体の動画ファイルとして保存されるため、パソコンでの編集やWEBアップロードに適した記録方式です。

■ 撮影した動画の互換性について

[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- AVCHDおよびMP4対応機器について、詳しくは下記サポートサイトでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/dsc/

動画撮影中に写真を記録する

使えるモード：[iA][■][LR][SCN]

動画撮影中に写真を撮影することができます。

動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

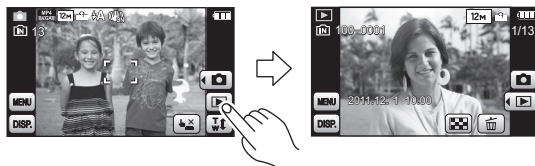
- **左レンズで動画を撮影中に、右レンズで写真を記録します。**
  レンズに指がかからないようにお気をつけください。
- 動画撮影中に連写撮影することもできます。
- [8]設定時は、[4]に自動で設定されます。
  [2]、[4]設定時は、ピントは１枚目の設定に固定されます。

お知らせ

- １回の動画撮影中に記録可能な写真枚数は最大６枚です。
- 同時記録の写真は、画像横縦比[16:9]、記録画素数（9 M）で記録されます。
- 左右それぞれ別のレンズで動画と写真を記録するため、動画と写真の画角が一致しない場合があります。
- 写真のピント合わせを行うために、写真記録されるまで少し時間がかかる場合があります。
- シャッターボタンを半押しすると、記録画素数、クオリティと記録可能枚数が表示されます。
- ズーム中に写真を撮影する場合、ズームが止まります。
- 動画撮影中に写真撮影をすると、シャッターボタンの操作音やレンズの動作音が記録される場合があります。
- **フラッシュは［⚡］になります。**
- 内蔵メモリー使用時は、動画撮影中の写真記録はできません。
- 3D動画撮影中は写真の記録はできません。

写真を見る（通常再生）

撮影状態で［▶］をタッチする

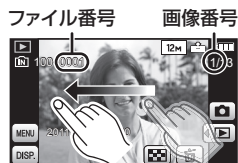
●通常再生に切り換わります。

お知らせ

●本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
●他機で撮影された写真は本機で再生できない場合があります。

画像を送る

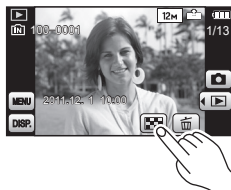
画面を水平にドラッグ（P9）する

・次の画像へ送る：右から左にドラッグ
・前の画像に戻す：左から右にドラッグ

●画像送りの早さは、再生の状況によって変わります。
●画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。
（画像は縮小して表示されます）

複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

[ ] をタッチする

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

・[ ]:1 画面　・[ ]:12 画面
・[ ]:30 画面　・[CAL]:カレンダー検索

- スライドバーに[▲]/[▼]が表示されている場合は、タッチして画面を切り換えてください。
- スライドバーを上下にドラッグ(P9)すると、画面を切り換えることができます。
- 画面を上下にドラッグ(P9)すると、少しずつ画面を切り換えることができます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

再生画面を拡大する(再生ズーム)

拡大したい部分をしっかりとタッチする

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

- ズームレバーを回しても画像を拡大/縮小することができます。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置が表示されます。
- 拡大するほど、画質は粗くなります。
- 画面をドラッグ(P9)すると、拡大部分を移動することができます。
- [×1.0]をタッチすると、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- [ ]をタッチすると、倍率は小さくなります。

基本

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は、本機または当社製デジタルカメラ（LUMIX）で撮影したAVCHD（AVCHD Progressiveを除く）、MP4、QuickTime Motion JPEG、本機で撮影した3D動画です。

再生状態で動画アイコン（[SBS 3D]/[MP4 VGA]/[AVCHD FSH]など）が付いた画像を選び、画面中央の[▶]をタッチして再生する

動画アイコン　動画記録時間

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例）8分30秒のとき：8m30s
- [AVCHD]や3Dで撮影した動画は、一部の情報（撮影情報など）が表示されません。

■ 動画再生中の操作

1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する

- 約2 秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

2　コントロールパネルをタッチして操作する

アイコン	操作	アイコン	操作
[▶/II]	再生/一時停止	[■]	停止
[◀◀]	早戻し再生※	[▶▶]	早送り再生※
[◀II]	コマ戻し（一時停止中）	[II▶]	コマ送り（一時停止中）
[+]	音量上げる	[−]	音量下げる

※ もう一度［▶▶］/［◀◀］をタッチすると、早送り/早戻し速度が速くなります。

お知らせ

- 大容量のカードを使用したとき、早戻し再生が遅くなる場合があります。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。
- 他機で撮影された動画は本機で再生できない場合があります。

動画から写真を作成する

撮影した動画から、1 枚の写真を作成できます。

1 動画再生中に [▶/II] をタッチする

2 [📷保存] をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。

お知らせ

- 3D動画からは写真を作成できません。
- 以下の記録画素数で保存されます。

記録方式	記録画素数
[AVCHD]の[FSH]、[SH]	2M(16:9)
[MP4]の[FHD]、[HD]	2M(16:9)
[MP4]の[VGA]	0.3M(4:3)

- 他機で撮影された動画は写真で保存することができない場合があります。
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。

画像を消去する

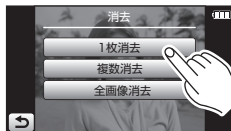
画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。
- DCF規格外または[プロテクト]設定された画像は、消去できません。

1枚消去

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑]をタッチする

2 [1枚消去]をタッチする

- 確認画面が表示されます。
  [はい]を選ぶと消去されます。

複数消去(50枚まで)/全画像消去

1 再生状態で[🗑]をタッチする

2 [複数消去]または[全画像消去]をタッチする

- [全画像消去]→確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。
- [全画像消去]選択時、[★以外全消去]を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

3 ([複数消去]選択時)消去したい画像をタッチする(繰り返す)

- 設定した画像に[🗑]が表示されます。
  もう一度タッチすると設定が解除されます。

4 ([複数消去]選択時)[実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

お知らせ

- 消去中は電源を切らないでください。また、十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニューを使って設定する

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

メニューの設定方法

例）撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[■](1 点)から[顔](顔認識)に設定する

1 [MENU]をタッチする

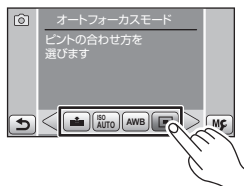
2 メニューアイコンをタッチする

メニュー	内容
撮影(P64〜) (撮影モードのみ)	色合いや感度、横縦比、画素数などをお好みで設定できます。
動画(P82〜) (撮影モードのみ)	撮影モードや画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
再生(P88〜) (再生モードのみ)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。
セットアップ(P40〜)	時計の設定や操作音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。

基本

メニューを使って設定する（続き）

3 メニュー項目をタッチする

● [◁]/[▷]をタッチすると、ページを切り換えることができます。

4 設定内容をタッチする

● メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

手順**3**、**4**で、メニュー項目/設定内容のアイコンを長めにタッチすると、説明文が表示されます。
・そのまま指を離すと、決定されます。
・タッチしたままアイコンのない位置に指を動かしてから離すと、決定されません。

■ メニューを終了する

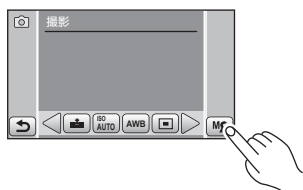
[⮌] を数回タッチする、またはシャッターボタンを半押しする

お知らせ

● 本機では仕様上、お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

よく使うメニューを簡単に呼び出す（ショートカット設定）

お好みのメニュー項目を液晶モニターに表示させておくことができます。
撮影/再生モードごとに、よく使うメニュー項目を2つまで登録しておくことができます。
- 撮影メニューについては64ページ、動画撮影メニューについては82ページ、再生メニューについては88ページをお読みください。

1 メニュー項目の選択画面で [MS] をタッチする

2 登録したいメニュー項目をショートカット設定エリアへドラッグする

- 登録されたメニュー項目が表示されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ 項目の入れ替えおよび解除について

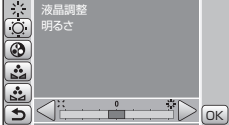
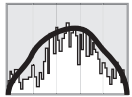
- 手順**2**で、登録したいメニュー項目をすでに設定されている項目へドラッグしてください。
  項目を入れ替えることができます。
- 手順**2**で、登録した項目をショートカット設定エリアの外へドラッグすると登録が解除され、空き項目になります。

お知らせ

- セットアップメニューは設定できません。
- 撮影モードによっては、登録しても使用できない項目があります。

基本

セットアップメニューを使う

[時計設定]、[エコモード]、[オートレビュー]は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

項目	設定･お知らせ
時計設定	●詳しくは、17ページをお読みください。
ワールドタイム お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。 旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。	**[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、[◁]/[▷]でエリアを選び、[決定]をタッチしてください。** ●お買い上げ時はまず[ホーム]を設定してください。[旅行先]の設定は、[ホーム]設定後に行えます。 [✈](旅行先)： 旅行先の地域 現地時刻 ホームとの時差 10:00 10:30 アデレード + 0:30 決定 [🏠](ホーム)： お住まいの地域 現在時刻 GMT(グリニッジ標準時)との時差 10:00 東京 ソウル GMT+ 9:00 決定 ●エリア選択時に[ ]をタッチすると、サマータイム(夏時間)の設定/解除ができます。 ●画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

セットアップメニューの設定方法はP37へ

項目	設定・お知らせ
トラベル日付 旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。 記録された経過日数などは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P91)で撮影画像に焼き込むことができます。	**[トラベル日付設定]**: **[設定]**: 出発日、帰着日を設定します。撮影時に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 **[OFF]**: 経過日数は記録されません。 ● 現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。[トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 **[旅行先]**: **[設定]**: 撮影時に旅行先が記録されます。 **[OFF]** ● 文字入力の方法については、63ページの「文字を入力する」をお読みください。 - - - - - - - - - - ● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ● 設定したトラベル日付は、電源を切っても記憶しています。 ● 出発日より前は、経過日数は記録されません。 ● 3D動画、[AVCHD]で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ● 動画撮影の際、[旅行先]は記録できません。 ● インテリジェントオートモードでは設定できません。他の撮影モードで設定した内容が反映されます。
操作音 操作音やシャッター音を設定します。	[■)))](操作音音量): [◁)]: 小 [◁))]: 大 [◁×]: なし [♪](シャッター音音量): [♪)]: 小 [♪)))]: 大 [♪×]: なし [))❶](操作音音色): [))❶]、[))❷]、[))❸] [♪❶](シャッター音音色): [♪❶]、[♪❷]、[♪❸]
スピーカー音量 スピーカーの音量を7段階に調整します。	● テレビと接続したとき、テレビ側のスピーカーの音量は変わりません。

セットアップメニューを使う（続き）

項目	設定･お知らせ
液晶調整 液晶モニターの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。	[ ]（明るさ）: 明るさを調整します。 [ ]（コントラスト･彩度）: 明暗差や色の鮮やかさを調整します。 [ ]（赤み）: 赤みを調整します。 [ ]（青み）: 青みを調整します。 **1 設定項目をタッチして [◁]/[▷] で調整する** **2 [OK] をタッチする** 液晶調整 明るさ 0 OK ●被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
液晶モード 屋外などの明るい場所で液晶モニターが見にくいときに見やすくします。	[ ]（オートパワーLCD）※: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [ ]（パワーLCD）: 液晶モニターが通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。 [ ]（OFF） ※撮影モード時のみ設定できます。 ●液晶モニターの画面に表示される画像の明るさを強調しているため、被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ●[パワーLCD]の液晶モニターの画面は、撮影時、30秒間何も操作しないと、自動的に通常の明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。 ●[液晶モード]設定時は記録可能枚数が減少します。

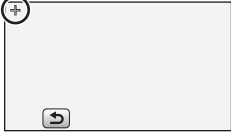
セットアップメニューの設定方法はP37へ

セットアップメニューの設定方法はP37へ

項目	設定・お知らせ
ガイドライン表示 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。また、ガイドライン表示時に、撮影情報を併せて表示するかしないかを設定します。	**[撮影情報]**：[ON]、[OFF]　**[パターン]**：[▦]、[⊠] ●被写体を交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。 ●インテリジェントオートモード時、[パターン]は[▦]に固定されます。 ●シーンモードの[フォトフレーム]では、ガイドラインは表示されません。
ヒストグラム表示 ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。	[ON](ON)、[OFF](OFF) ●ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。 暗い ← 適正 → 明るい **●フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。** ●撮影時のヒストグラムは目安です。 ●撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。 ●パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。 ●以下の場合、ヒストグラムは表示されません。 ・インテリジェントオートモード　・マルチ再生 ・動画撮影時　・再生ズーム ・シーンモードの[フォトフレーム]　・HDMI ミニケーブル接続時 ・カレンダー検索　・2画面再生
動画記録枠表示 動画撮影時の画角を確認できます。	[ON](ON)、[OFF](OFF) ●動画記録枠表示は目安です。 ●記録画素数の設定によっては、T 側にズームしていくと記録枠表示が消える場合があります。 ●インテリジェントオートモード時は[OFF]に固定されます。

基本

セットアップメニューを使う（続き）

項目	設定・お知らせ
エコモード 設定した時間の間に何も操作しないと、自動的に電源を切ります。 また、液晶モニターを暗くすることでバッテリーの消耗を防ぎます。	[ ]（自動電源 OFF）：設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [ ]（2分） [ ]（5分） [ ]（10分） [ ]（OFF） [ ]（液晶パワーセーブ）：[ON]、[OFF]　液晶モニターの輝度を下げます。撮影中※はさらに液晶モニターの画質を下げてバッテリーの消耗を防ぎます。 ※デジタルズーム領域は除く。 ●インテリジェントオートモード時、[自動電源OFF]は[5分]に固定されます。 ●以下の場合、[自動電源OFF]は働きません。 ・パソコンまたはプリンター接続時　・動画撮影/動画再生時 ・スライドショー時　・自動デモ ●デジタルズーム領域では光学ズーム領域と比べて、[液晶パワーセーブ]の効果が低減します。 ●[液晶パワーセーブ]の効果は、撮影される画像には影響しません。 ●液晶モニターの輝度は[液晶パワーセーブ]よりも[液晶モード]の設定が優先されます。
オートレビュー 写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。	[ ]（1 秒） [ ]（2 秒） [ ]（OFF） ●以下の場合、オートレビューの設定にかかわらず、オートレビューされます。 ・シーンモードの[手持ち夜景]、[フラッシュ連写] ・[オートブラケット] 撮影時 ・[連写] 撮影時 ●インテリジェントオートモードまたはシーンモードの[フォトフレーム] 時は[2秒]に固定されます。 ●動画撮影では働きません。

セットアップメニューの設定方法はP37へ

項目	設定・お知らせ
番号リセット 次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。	●フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ●フォルダー番号は100から999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P46)することをお勧めします。 ●フォルダー番号を100にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。
設定リセット 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	**撮影設定、セットアップ設定** ●撮影時に撮影設定をリセットすると、レンズのリセット動作も同時に行います。レンズの動作音がしますが、異常ではありません。 ●撮影設定をリセットすると、[個人認証]で登録したデータもリセットされます。 ●セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 ・[ショートカット設定] ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の誕生日設定、名前設定 ・[トラベル日付]の設定内容(出発日、帰着日、旅行先) ・[ワールドタイム]の設定内容 ●フォルダー番号、時計の設定は変わりません。
USBモード USB接続ケーブル(付属)を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB通信方式を設定します。	[USB](接続時に選択)：パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、[PC]または[PictBridge(PTP)]のいずれかを選択します。 [USB](PictBridge(PTP))：PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [USB](PC)：パソコンに接続する場合に設定します。
映像出力 テレビの種類に合わせて設定します。	[ ](TV画面タイプ)： [16:9]：画面が16:9のテレビと接続時 [4:3]：画面が4:3のテレビと接続時 ●AVケーブル(別売)接続時に働きます。

基本

セットアップメニューを使う（続き）

項目	設定・お知らせ
ビエラリンク 本機とHDMIミニケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラのリモコンで操作できるように設定します。	[VIERA Link ON]（ON）：ビエラリンク対応機器のリモコンで操作ができるようになります。（すべての操作はできません）本機での操作は制限されます。 [VIERA Link OFF]（OFF）：本機での操作になります。 ●HDMIミニケーブル（別売）接続時に働きます。 ●詳しくは、104ページをお読みください。
回転表示 本機を縦に構えて撮影した画像を縦向きに表示させることができます。	[ ]（ON）：回転して縦向きに表示します。 [ ]（外部出力のみ）：テレビに接続して再生するときのみ、縦向きに表示します。 [ ]（OFF） ●画像を再生する方法については、32ページをお読みください。 ●パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです] ●他機で撮影された画像は回転できない場合があります。 ●マルチ再生時は、回転表示されません。 ●3D画像は回転表示されません。
バージョン表示	●本体のファームウェアバージョンを確認できます。
フォーマット 内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（初期化）します。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください。**	●フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーを使用し、フォーマット中は電源を切らないでください。 ●カードが入っている場合はカードのみフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。 ●他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。 ●カードより内蔵メモリーのほうがフォーマットに時間がかかる場合があります。 ●フォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

セットアップメニューの設定方法はP37へ

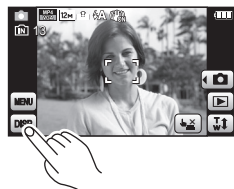
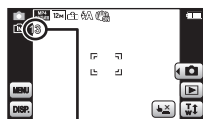
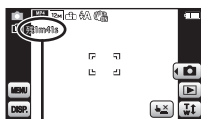
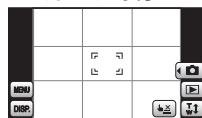
項目	設定・お知らせ
タッチパネル調整 タッチしたものと違うものが選択されたり、タッチ操作が反応しなかった場合などに、タッチパネルの位置調整をします。	**1 [開始]をタッチする** **2 画面に表示されるオレンジ色の[+]マークを、タッチペン(付属)で順番にタッチする(5か所)** ●位置調整が完了するとメッセージが表示されます。 **3 [終了]をタッチして終了する** ●正しい位置をタッチしなかった場合、タッチパネル調整は行われません。[+]マークをタッチし直してください。
自動3D調整 3D撮影時の視差(画像のズレ)をカメラが自動で調整します。	**1 [OK]をタッチする** ●画面左に表示されるバーが[◀]を超えるときのみ[OK]が表示されます。 **2 [終了]をタッチして終了する** 自動3D調整 OK ●調整中はカメラを固定し、動かさないようにしてください。 ●落下などで本機に強い衝撃が加わったときや、撮影した3D画像に違和感・不快感を感じるときなどに調整してください。 ●明るく、動きの少ない、さまざまな形がある被写体を選ぶと調整しやすくなります。
デモモード [手ブレ補正デモ]や本機の特長を表示します。	**[手ブレ補正デモ]**: カメラが感知した手ブレ量を表示 **[自動デモ]**: [ON]: 本機の特長をスライドショーで表示 [OFF] ●[手ブレ補正デモ]中に[手ブレ補正]をタッチするごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り換わります。 ●[手ブレ補正デモ]は目安です。 ●[自動デモ]はテレビ出力されません。 手ブレ補正デモ 手ブレ量 ON 手ブレ補正 補正後の手ブレ量

基本

液晶モニターの表示を切り換える

[DISP.] をタッチして切り換える

- 再生ズーム時、動画再生中、スライドショー中は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

表示(撮影情報)あり※1 → 表示(撮影情報)あり※1 → 表示なし※2 → ガイドライン表示※1、2 → 表示(撮影情報)あり

撮影可能枚数

記録可能時間

再生時

表示あり → 表示+撮影情報※1 → 表示なし※2、3 → 表示あり

※1 セットアップメニューの[ヒストグラム表示]を[ON]に設定すると、ヒストグラムが表示されます。

※2 一定時間何も操作をしないと、以下のアイコンのみ表示されます。

撮影時：[ ]/[ ]/[DISP.]　　再生時：[ ]/[DISP.]

※3 [DISP.]をタッチすると個人認証で登録されている人物の名前が表示されます。

タッチ操作で写真を撮る（タッチシャッター機能）

使えるモード：iA 📷 SCN

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 [ ] をタッチする

- アイコンが[ ]に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。

  ：タッチシャッター操作可能
  ：タッチシャッター操作不可

2 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所にAFエリアが表示され、撮影されます。（画面の端には設定できません）

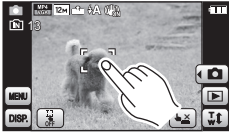
3 [ ] をタッチして、タッチシャッター機能を解除する

お知らせ

- 液晶モニターの右上部分は、画像が映っていてもタッチ操作できません。
- タッチシャッターの設定は、電源を切っても記憶しています。
- タッチシャッターで動画を撮影することはできません。

撮影

タッチ操作で狙った被写体にピントや露出を合わせる (タッチAF/AE)

使えるモード：[iA][●][ ][SCN]

タッチパネルを使って、指定した被写体にピントや露出を合わせることができます。
● タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

● AFエリアは画面内の自由な位置に設定できます。（画面の端には設定できません）
● [オートフォーカスモード](P72)の設定で動作は異なります。
● インテリジェントオートモード時、タッチAF/AEは追尾AFに固定され、タッチした被写体に最適なシーンを判別します。

オートフォーカスモード	タッチしたときの動作
[ ]（顔認識）/ [ ]（23点）/ [ ]（1点）/ [ ]（スポット）	● [ ]（顔認識）では、タッチするとAFエリアが黄色になります。 ● [ ]（スポット）以外を設定した場合は、AF エリア[ ]（1 点）が表示されます。 ● [ ]（スポット）設定時は、AF エリア[ ]（スポット）が表示されます。 例）AF エリア[ ]（1 点）の場合
[ ]（追尾AF）	● AFエリアが黄色になり被写体がロックされます。被写体の動きに合わせて自動で連続的にピントと露出を合わせます。（動体追尾）

● [ ]をタッチすると、元のオートフォーカスモードに従います。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

■ （追尾AF）について

● ロックに失敗したときは、追尾AF枠が赤くなったあと消えます。もう一度ロックをやり直してください。
● ロックや動体追尾が働かないときは、[オートフォーカスモード]は[ ]で撮影されます。
● タッチシャッターを [ ]にすると、追尾AFは解除されます。
● 以下の場合、[ ] に設定できません。
・3D撮影時
・シーンモードの [パノラマアシスト]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[ハイダイナミック]
・カラーモードの[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]
● 以下の場合など、撮影状況によっては、ロックに失敗することがあります。
・被写体が小さすぎる
・動きが速い
・手ブレしている
・撮影場所が明るすぎる/暗すぎる
・類似した色の他の被写体や背景があるとき
・ズーム使用時

お知らせ

● 液晶モニターの右上部分は、画像が映っていてもタッチ操作できません。

ズームを使って撮る

使えるモード：[iA] [●] [LR] [SCN]

光学ズーム/EX光学ズーム(EZ)/iAズーム/デジタルズームで撮る

風景などを広く(広角)撮ったり人や物を大きく(望遠)撮ることができます。さらに大きく(最大7.8倍)撮るには、各画像横縦比(4:3/3:2/16:9/1:1)で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。

大きく撮るには(望遠)

ズームレバーを T側へ回す

広く撮るには(広角)

ズームレバーを W側へ回す

■ ズームの種類

種類	光学ズーム	EX光学ズーム(EZ)
最大倍率	4倍	7.8倍※
画質	劣化しない	劣化しない
条件	なし	EZ付きの記録画素数(P68)を選ぶ
画面表示	W ▭ T	EZ W ▭ T EZを表示

※　記録画素数や画像横縦比により変わります。

種類	iA ズーム	デジタルズーム
最大倍率	光学ズームまたはEX光学ズームの約1.3倍	光学ズーム、EX光学ズームまたはiAズームの４倍
画質	ほとんど劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	撮影メニューの[超解像](P77)を[iA ズーム]に設定する	撮影メニューの[デジタルズーム](P78)を[ON]に設定する
画面表示	iA ZOOM W ▭ T EZ iA ZOOM W ▭ T iA ZOOM を表示	W ▭ T EZ W ▭ T iA ZOOM W ▭ T EZ iA ZOOM W ▭ T デジタルズーム領域を表示

● ズーム時は、ズーム表示のバーと連動して撮影可能範囲の目安が表示されます。(例:0.5m－∞)

撮影

ズームを使って撮る（続き）

使えるモード：[iA][📷][LR][SCN]

お知らせ

- ズーム倍率は目安です。
- EZとは「Ex. Optical Zoom」の略で、EX光学ズームを表します。光学ズームより望遠効果の高い写真が撮影できます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P67)を使って撮影することをお勧めします。
- 以下の場合、iAズームは使えません。
  - ・3D撮影時
  - ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[手持ち夜景]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]
- 以下の場合、EX光学ズームは使えません。
  - ・3D撮影時
  - ・インテリジェントオートモードの[ブレピタモード]
  - ・ズームマクロ撮影時
  - ・シーンモードの[変身]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[フォトフレーム]
  - ・動画撮影時
- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
  - ・3D撮影時
  - ・インテリジェントオートモード
  - ・シーンモードの[変身]、[手持ち夜景]、[高感度]、[フラッシュ連写]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、[フォトフレーム]

タッチ操作でズームを使う

1 [T/W]をタッチする

- 液晶モニターにズームアイコンが表示されます。

2 画面上のズームアイコンをタッチする

[↑T]	自動でズーム位置がT端まで移動します※
[↓W]	自動でズーム位置が W端まで移動します※
[L]	ゆっくりズームする
[H]	速くズームする

※移動中にもう一度タッチすると、途中で停止します。

- 動画撮影中のズームスピードは通常より遅くなります。

お知らせ

- ワイド & ズーム同時撮影モードでは、タッチズームは使えません。

画角の異なる画像を同時に撮る（[LR]：ワイド＆ズーム同時撮影モード）

2つのレンズでそれぞれ画角の違う写真を同時に2枚撮影したり、画角の違う動画と写真を同時に記録することができます。
- 以下の機能が自動的に働きます。
  ・[ISO感度]の[オート]/オートホワイトバランス/クイックAF/iA ズーム /AF補助光/手ブレ補正 /AF連続動作/風音低減

1 3D/2D切り換えスイッチを[2D]にする

2 撮影状態で[◀📷]をタッチする

3 [[LR]]をタッチする

4 左右いずれかの画像をタッチする
- タッチした画像が大きく表示され、選択状態になります。

5 ズームレバーで画角を調整する
- 手順**4**、**5**を繰り返すことで、左右の画像を調整できます。
- 電源を切ったり、撮影モードを変更したあとは、左画像がW 端、右画像が T 端の画角になります。

6 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する
- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）が点灯します。
- シャッターボタン半押し時は、選択されている画像のISO感度、シャッタースピード、絞り値が表示されます。

■ 異なる画角の動画と写真を同時に記録する

上記手順**6**で動画ボタンを押すと、左画像の動画撮影を開始します。

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、右画像を写真記録します。（P31）
- もう一度動画ボタンを押して動画撮影を終了してください。
- [撮影モード]と[画質設定]は、他の撮影モードで設定した内容が反映されます。

動画撮影中の画像

写真記録できる画像

お知らせ
- [クオリティ]は[▪▪▪]に固定されます。
- [オートフォーカスモード]は[▪]に固定されます。
- [オートレビュー]設定時は、左画像から右画像の順にオートレビューされます。

撮影

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

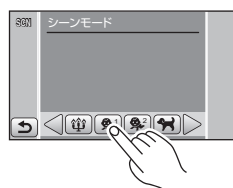
被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 3D/2D切り換えスイッチを[2D]にする

2 撮影状態で[ ]をタッチする

3 [SCN]をタッチする

4 設定したいシーンモードをタッチする

- [◁]/[▷]をタッチすると、ページを切り換えることができます。
- シーンモードのアイコンを長めにタッチすると、説明文が表示されます。
  - ・そのまま指を離すと、決定されます。
  - ・タッチしたままアイコンのない位置に指を動かしてから離すと、決定されません。

お知らせ

- メニュー画面から[SCN]をタッチしてシーンモードを変更することができます。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、[ISO感度]、[マクロ撮影モード]、[暗部補正]、[下限シャッター速度]、[超解像]、[カラーモード]の設定はできません。

項目	設定・お知らせ
人物 昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に撮影できます。	**撮影のテクニック** ●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。
美肌 昼間の屋外で、[人物]より肌の表面を特になめらかに撮影できます。（胸から上を撮りたいときに効果的です）	**撮影のテクニック** ●ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。 ●背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。 ●明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
変身 スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、同時に肌をきれいに撮影することができます。	**変身レベル設定** 変身のレベルを選択します。 ●記録画素数は3M（4:3）、2.5M（3:2）、2M（16:9）、2.5M（1:1）に固定されます。 ●公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定・お知らせ</th></tr>
<tr><td>自分撮り

自分を撮りたいときに合わせてください。</td><td>撮影のテクニック
●シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ブレしないようにしっかりと構えて、シャッターボタンを全押ししてください。
●セルフタイマーランプが点滅しているときは、ピントが合っていませんので、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
●シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をお勧めします。</td></tr>
<tr><td>風景
広がりのある風景を撮影できます。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>パノラマアシスト

パノラマ画像を作るのに適したつながりのある画像を撮影できます。</td><td>撮影する方向の設定
1　撮影する方向をタッチする
2　[OK]をタッチする
●水平/垂直ガイドが表示されます。
3　撮影する
●[撮り直し]を選ぶと、撮影をやり直すことができます。
4　[次の撮影]をタッチする
●撮影した画像の一部が透過画像として表示されます。
5　透過画像が重なるように構図を水平、または垂直に移動して撮影する
●3枚目以降を撮影するときは、手順4、5を繰り返してください。
6　[完了]をタッチする
●ピント・ズーム・露出・ホワイトバランス・シャッタースピード・ISO感度は、1枚目の設定に固定されます。
●三脚の使用をお勧めします。暗いときは、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
●シャッタースピードは最大8秒になります。
●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
●撮影した画像はCD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパノラマ画像に合成することができます。</td></tr>
</table>

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（続き）

項目	設定・お知らせ
スポーツ スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。	●シャッタースピードは最大1秒になります。 ●5 m以上離れた被写体の撮影に適しています。
夜景＆人物 人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** **●フラッシュをお使いください。（[⚡S◎]に設定できます）** ●被写体の人に、撮影中はなるべく動かないように伝えてください。 ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●シャッタースピードは最大8秒になります。 ●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
夜景 夜景を鮮やかに撮影できます。	●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●シャッタースピードは最大8秒になります。 ●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ●暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
手持ち夜景 夜景を高速連写で撮影し、1 枚の画像に合成します。手持ちの撮影でも手ブレやノイズが軽減されます。	●連写中は本機を動かさないでください。 ●暗い場面で撮影したり、動いている被写体を撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
料理 レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。	―
パーティー 結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。	**撮影のテクニック** **●フラッシュをお使いください。（[⚡◎]または[⚡S◎]に設定できます）** ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●ズームをW端（広角）にして、被写体から約1.5 mほど離れたところから撮影することをお勧めします。

項目	設定・お知らせ
キャンドル ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。	**撮影のテクニック** ●フラッシュを使わずに撮影すると、より効果的です。 ●三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ●シャッタースピードは最大1秒になります。
赤ちゃん1/ **赤ちゃん2** 赤ちゃんの肌を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。 [赤ちゃん1]と[赤ちゃん2]のそれぞれに、異なる誕生日や名前を設定できます。これらは、再生時に表示させたり、[文字焼き込み](P91)で撮影画像に焼き込むことができます。	**誕生日/名前を設定する** **1 [月齢/年齢]または[名前]をタッチする** **2 [設定]をタッチする** **3 誕生日/名前を入力する** 誕生日：各項目をタッチして、[▲]/[▼]で年・月・日を設定し、[決定]をタッチする 名前：文字入力の方法については63ページの「文字を入力する」をお読みください。 ●誕生日/名前を設定すると、[月齢/年齢]または[名前]は自動で[ON]になります。 ●誕生日/名前が登録されていない場合に[ON]にすると、自動的に設定画面が表示されます。 **4 [終了]をタッチして終了する** **月齢 / 年齢や名前の表示を解除する** 手順**2**で[OFF]に設定する ●CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。 ●誕生日や名前を設定していても[月齢/年齢]または[名前]を[OFF]にしていると月齢/年齢や名前は表示されません。 ●シャッタースピードは最大1秒になります。
ペット 犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。ペットの誕生日や名前を設定できます。	[月齢/年齢]、[名前]については、上記[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]をお読みください。
夕焼け 夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。	—

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）（続き）

項目	設定・お知らせ
高感度 薄暗い室内で被写体のブレを抑えて撮影できます。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。
フラッシュ連写 フラッシュを発光しながら連写します。暗い場所で連写撮影をしたいときに便利です。	**記録画素数・画像横縦比設定** 記録画素数は3M(4:3)、2.5M(3:2)、2M(16:9)、2.5M(1:1)から選択します。 ●シャッターボタンを全押ししている間、写真を連続して撮影します。 連写コマ数：最大5コマ ●ピント・ズーム・露出・シャッタースピード・ISO感度・フラッシュ発光量は、1コマ目の設定に固定されます。 ●セルフタイマー使用時、撮影コマ数は5コマに固定されます。
星空 星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。	**シャッタースピード設定** シャッタースピードを15秒、30秒から選択します。 ●シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。 カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。 **撮影のテクニック** ●15秒、30秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
花火 夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。	**撮影のテクニック** ●シャッタースピードが遅くなるため、三脚の使用をお勧めします。 ●被写体までの距離が10 m以上のときに最適です。 ●シャッタースピードは1/4秒または2秒に固定されます。 ●露出補正をすると、シャッタースピードを変えることができます。
ビーチ 海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。	●ぬれた手で触らないでください。

項目	設定・お知らせ
雪 スキー場や雪山などの白い雪を白く出すように撮影できます。	—
空撮 飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。	**撮影のテクニック** ● 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト(濃淡)の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをお勧めします。
ピンホール 被写体の周辺を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。	● 画面周辺の暗い部分では、顔認識機能が正常に働かない場合があります。
サンドブラスト 砂を吹きつけたようなざらざらとした感じの白黒画像を撮影できます。	—
ハイダイナミック 逆光の風景や夜景などのシーンで、暗いところから明るいところまで適度な明るさで表現した写真を簡単に撮影することができます。	**効果の設定** [STD](スタンダード):自然な色合いの効果 [ART](アート):コントラストと色を強調した印象的な効果 [B&W](白黒):白黒の効果 ● 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ● 暗いときは、三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。 ● シャッタースピードは最大8秒になります。 ● 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約8秒)になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。 ● 暗い部分を明るく補正するため、通常撮影よりも液晶画面のノイズが目立つ場合があります。
フォトフレーム 画像にフレームをつけて撮影します。	**フレームの設定** 3 種類のフレームから選択します。 ● 記録画素数は5M(4:3)に固定されます。 ● 画面に表示されるフレームの色と、実際に撮影される画像のフレームの色は異なりますが、故障ではありません。

個人認証機能を使って撮る

使えるモード：iA ◘ SCN

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

お買い上げ時、[個人認証]は[OFF]に設定されています。
顔画像を登録すると自動的に[ON]になります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

  撮影時

  ・カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※
  （名前を設定している場合）

  再生時

  ・名前や月齢/年齢の表示（情報を登録している場合）
  ・登録人物から選んだ人物の画像のみを再生（[カテゴリー選択]（絞り込み再生））

  ※ 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

お知らせ

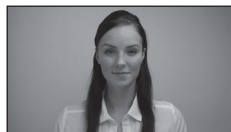
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- 個人認証は、確実な人物の認証を保証するものではありません。
- 個人認証では、顔の特徴を抽出し認証を行うため、通常の顔認識よりも時間がかかります。
- 個人認証情報を登録していても、名前を[OFF]にして撮影した画像は、[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されません。
- **個人認証情報を変更した場合****（P62）****でも、すでに撮影した画像の認証情報は変更されません。**
  例えば、名前を変更すると、変更前に撮影した画像は[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されなくなります。
- 撮影した画像の名前情報を変更するには[認証情報編集]の[入れ換え]（P100）を行ってください。
- 以下の場合、[個人認証]は使用できません。
  ・3D撮影時
  ・シーンモードの[変身]、[パノラマアシスト]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[空撮]、[サンドブラスト]
  ・動画撮影時

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。
同じ人物の顔画像を複数枚登録するなど(1登録につき最大3枚)、顔登録のしかたを工夫することにより個人認証されやすくなります。

■ 顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

登録時の良い例

■ 撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P62)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、再度登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

1 撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(P37)

2 [MEM](登録)をタッチする

3 [新規登録]をタッチする

- すでに6人登録されているときは、[新規登録]が表示されません。
  追加で登録する場合は、すでに登録されている人物を解除してください。

4 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- [i]をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

個人認証機能を使って撮る（続き）

使えるモード:

5 項目を設定する

●顔画像は3枚まで登録できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>名前</td><td colspan="2">名前を設定します。
1 [設定]を選ぶ
2 名前を入力する
●文字入力の方法については、63ページの「文字を入力する」をお読みください。</td></tr>
<tr><td>月齢/年齢</td><td colspan="2">誕生日を設定します。
1 [設定]を選ぶ
2 各項目をタッチして、[▲]/[▼]で年・月・日を設定し、[決定]をタッチする</td></tr>
<tr><td>フォーカスアイコン</td><td colspan="2">ピントが合うときに表示されるフォーカスアイコンを変更します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">追加登録</td><td>追加登録</td><td>顔画像を追加登録します。
1 [追加登録]をタッチする
2 「顔画像を登録する」の手順4を行う</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>顔画像を1枚消去します。
解除したい顔画像をタッチする
●画像が1枚しか登録されていない場合は、解除できません。</td></tr>
</table>

●設定後はメニューを終了してください。

登録した人物の情報を変更または解除する

すでに登録している人物の顔画像や情報を変更することができます。また、登録している人物の情報を消去することができます。

1 撮影メニューから[個人認証]を選ぶ(P37)
2 [ ](登録)をタッチする
3 編集または解除したい顔画像をタッチする
4 項目を設定する

項目	設定内容
情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順5を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 1 動かしたい登録順の位置をタッチする 2 [決定]をタッチする
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

●設定後はメニューを終了してください。

文字を入力する

撮影時に、赤ちゃんやペットの名前、旅行先などを入力しておくことができます。
(ひらがな、カタカナ、英数字、記号のみ入力できます)
指で操作しにくい場合は、タッチペン(付属)をお使いください。

1 入力画面を表示する

- 入力画面は以下の操作から表示できます。
  - ・シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[名前]
  - ・[個人認証]の[名前]
  - ・[トラベル日付]の[旅行先]
  - ・[タイトル入力]

2 文字を入力する

- [切換]をタッチすると、かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換えることができます。
- [◀]/[▶]をタッチすると入力位置のカーソルを左右に移動できます。
- 空白を入力したいときは[␣]、入力した文字を消去したいときは[消去]をタッチしてください。
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
  - ・かな/カナ: 最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)
  - ・A/a/1/&※: 最大30文字([個人認証]の名前設定時は最大9文字)

  ※[＼]、[「]、[」]、[･]、[―]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。

3 [決定]をタッチする

文字入力例
「パリ」と入力する場合:
❶ [切換]をタッチし、カナに切り換える
❷ 「ハ」をタッチする
❸ 「゛ ゜」を2回タッチし、「パ」にする
❹ 「ラ」を 2回タッチする
❺ [決定]をタッチする

お知らせ

- 入力した文字数が多い場合、文字はスライドして表示されます。
- [タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

撮影

撮影メニューを使う

フラッシュ

使えるモード： [iA] [📷] [SCN]

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

[⚡A](オート)	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
[⚡A◎](赤目軽減オート)※	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る(赤目現象)のを抑えるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
[⚡](強制発光) [⚡◎](赤目軽減強制発光)※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
[⚡S◎] (赤目軽減スローシンクロ)※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象を抑えます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
[⊗](発光禁止)	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの[デジタル赤目補正](P80)を[ON]に設定すると、アイコンに[✎]が表示されます。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○:設定可、×:設定不可、◎:シーンモード初期設定)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	Ⓢ
iA	○※	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	○	○
L R	×	×	×	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	◎	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	○	◎	○
	×	×	×	○	○	◎

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡◎	⚡S◎	Ⓢ
1	○	◎	○	×	×	○
2	○	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	×
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	○	◎
	◎	○	○	×	×	○

※ [i⚡A]と表示されます。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュの設定が変わることがあります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を切っても記憶しています。シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定はモードを変更するたびに初期設定に戻ります。
- 動画撮影時はフラッシュは発光しません。
- 3D撮影時は[⚡A]、[⚡S◎]、[Ⓢ]のみ設定できます。

撮影メニューを使う（続き）

■ フラッシュ撮影可能範囲

	W端時	T端時
ISO感度[オート]設定時	約30 cm～約3.5 m	約1.0 m～約2.4 m

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60 ※1～1/1300秒
⚡A◎	
⚡ ⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S◎	1 ※1～1/1300秒 1または1/8～1/1300秒※2 1または1/4～1/1300秒※2､3
⊛	

※１[下限シャッター速度]設定によって変わります。
※２[下限シャッター速度]設定で[オート]選択時
※３[ISO感度]が[iISO]のとき

- ※2でシャッタースピードが最大１秒になるのは、以下の場合です。
  ･[手ブレ補正]が[OFF]のとき
  ･[手ブレ補正]設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- インテリジェントオートモード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。
- シーンモード時のシャッタースピードは上表と異なります。

お知らせ
- フラッシュに物を近づけると熱や光で変形、変色する場合があります。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンモードの[フラッシュ連写]やシャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られないことがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくい場合があります。

撮影メニューの設定方法はP37へ

セルフタイマー

使えるモード： iA 📷 SCN

タイマーを使って写真を撮影できます。

[⏲10](10秒)	10秒後に撮影します。
[⏲2](2秒)	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
[⏲OFF](OFF)	―

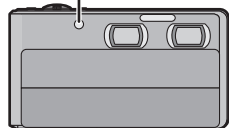
●シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影してください。セルフタイマーランプが点滅し、10秒(または2秒)後に撮影動作が開始されます。

セルフタイマーランプ

お知らせ

- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光として明るく点灯することがあります。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。
- シーンモードの[自分撮り]時は10秒に設定できません。
- 動画撮影時はセルフタイマーの設定はできません。

画像横縦比

使えるモード： 📷 SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

[4:3]	4:3テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

お知らせ

- プリント時に端が切れることがありますので、事前にご確認ください。(P129)
- 3D撮影時は[4:3]、[16:9]のみ設定できます。

撮影

撮影メニューを使う（続き）

記録画素数

使えるモード： [iA][📷][□R][SCN]

記録画素数を設定します。
画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

画像横縦比：[4:3]のとき

[12M]（12M）	4000×3000
[8M EZ]（8M EZ）※	3264×2448
[5M EZ]（5M EZ）	2560×1920
[3M EZ]（3M EZ）※	2048×1536
[2M EZ]（2M EZ）※	1600×1200
[0.3M EZ]（0.3M EZ）	640×480

画像横縦比：[3:2]のとき

[10.5M]（10.5M）	4000×2672
[7M EZ]（7M EZ）※	3264×2176
[4.5M EZ]（4.5M EZ）※	2560×1712
[2.5M EZ]（2.5M EZ）※	2048×1360
[0.3M EZ]（0.3M EZ）※	640×424

画像横縦比：[16:9]のとき

[9M]（9M）	4000×2248
[6M EZ]（6M EZ）※	3264×1840
[3.5M EZ]（3.5M EZ）※	2560×1440
[2M EZ]（2M EZ）※	1920×1080
[0.2M EZ]（0.2M EZ）※	640×360

画像横縦比：[1:1] のとき

[9M]（9M）	2992×2992
[6M EZ]（6M EZ）※	2448×2448
[3.5M EZ]（3.5M EZ）※	1920×1920
[2.5M EZ]（2.5M EZ）※	1536×1536
[0.2M EZ]（0.2M EZ）※	480×480

※インテリジェントオートモード時は設定できません。

- 3D撮影時は以下の設定になります。

画像横縦比：[4:3]のとき

[8M]（8M）	3264×2448

画像横縦比：[16:9]のとき

[6M]（6M）	3264×1840

お知らせ

- 画像横縦比を変更したときは、記録画素数をもう一度設定してください。
- 特定のモードではEX光学ズームが働きませんので、記録画素数の[EZ]は表示されません。
  EX 光学ズームが使えないモードについては、52ページをお読みください。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。

クオリティ

使えるモード： [iA][📷][□R][SCN]

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

[▪▪▪]（ファイン）	画質を優先するとき
[▪▪]（スタンダード）	標準画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき

お知らせ

- シーンモードの[変身]、[高感度]、[フラッシュ連写]時は、[▪▪]に固定されます。
- 3D撮影時は、MPO画像とファイン相当のJPEG画像が同時に記録されます。

ISO感度

使えるモード：

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

[ISO AUTO](オート)	明るさに応じて、自動的に ISO 感度を調整します。 ●最大[ISO800](フラッシュ使用時[ISO1600])
[iISO](i.ISO(インテリジェント))	被写体の動きと明るさに応じて、ISO感度を調整します。 ●最大[ISO1600]
[ISO 100](100)	それぞれのISO感度に固定します。
[ISO 200](200)	
[ISO 400](400)	
[ISO 800](800)	
[ISO 1600](1600)	
[ISO 3200](3200)	

	[ISO100]	[ISO3200]
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

■ iISO(インテリジェントISO感度コントロール)とは

被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。

- シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。

お知らせ

- [オート]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、66ページをお読みください。
- シーンモードの[スポーツ]、[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]、[フラッシュ連写]では、[iISO]に固定されます。
- 3D撮影時、動画撮影時は[オート]に固定されます。

撮影メニューを使う（続き）

ホワイトバランス

使えるモード： [iA] [カメラ] [3D] [SCN]

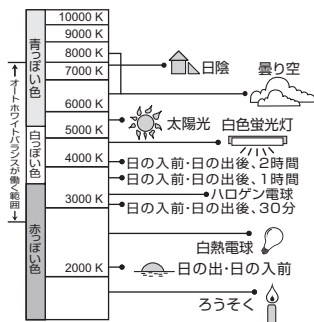
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

[AWB]（オートホワイトバランス）	自動調整
[晴天アイコン]（晴天）	晴天の屋外での撮影時
[曇りアイコン]（曇り）	曇りの屋外での撮影時
[日陰アイコン]（日陰）	屋外の晴天下の日陰での撮影時
[白熱灯アイコン]（白熱灯）	白熱灯下での撮影時
[セットアイコン]（セットモード）	[SET]で設定した値を使用

お知らせ

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]または[SET]をご使用ください。
- 電源を切っても設定したホワイトバランスは記憶されます。（シーンモードを変更すると、ホワイトバランスは[AWB]に戻ります）
- 以下の場合、ホワイトバランスは [AWB] に固定されます。
  - ・3D撮影時
  - ・シーンモードの[風景]、[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[パーティー]、[キャンドル]、[夕焼け]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ビーチ]、[雪]、[空撮]、[サンドブラスト]

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かないことがあります。この場合は、ホワイトバランスを[AWB]以外に設定して調整してください。

撮影メニューの設定方法はP37へ

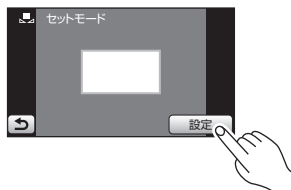
手動でホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。

1 [ ]をタッチする

2 [SET]をタッチする

3 白い紙など白いものだけを枠内に映し、[設定]をタッチする

- 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは適正な明るさに調整して再度設定してください。
- 設定後はメニューを終了してください。

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1 ホワイトバランスから[ ]/[ ]/[ ]/[ ]/[ ]をタッチする

2 [WB±]をタッチする

3 スライドバーをドラッグして、微調整する

赤（青みが強い場合）
青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、“0”を選んでください。

4 [決定]をタッチする

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが、赤または青に変わります。
- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 電源を切っても、設定したホワイトバランス微調整は記憶されます。
- セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[ ]（セットモード）の微調整レベルは “0” に戻ります。
- [カラーモード]の[白黒]、[セピア]、[クール]、[ウォーム]時は、ホワイトバランス微調整を設定できません。

撮影メニューを使う（続き）

オートフォーカスモード

使えるモード： iA 📷 ⧉R SCN

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

[顔]（顔認識）	人の顔を自動的に検知します。（最大15個）認識された顔がどの位置にあっても、顔にピントや露出を合わせることができます。
[追尾]（追尾AF）	指定した被写体にピントを合わせることができます。さらに、被写体が動いても自動でピントを合わせ続けます。（動体追尾） ● 詳しくは 50 ページをお読みください。
[23点]（23点）※	AFエリアごとに最大23点までピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。 （AFエリア枠は画像横縦比の設定と同じになります）
[■]（1点）	中央のAFエリア内にピントを合わせます。
[●]（スポット）※	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

※動画撮影中は[■]になります。

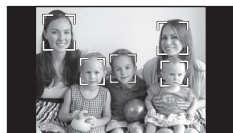
お知らせ

- [個人認証]が[ON]のときは[顔]に固定されます。
- シーンモードの[星空]、[花火]では、オートフォーカスモードは[■]に固定されます。
- シーンモードの[パノラマアシスト]、[夜景]、[手持ち夜景]、[料理]、[空撮]では[顔]に設定できません。
- 3D撮影時は[追尾]、[●] に設定できません。

■ 顔（顔認識）について

カメラが顔を認識すると以下の色のAFエリア枠が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア枠内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

お知らせ

- 以下の場合など、撮影状況によっては、顔認識機能が働かず、顔が検知できないことがあります。その際、オートフォーカスモードは[23点]（動画撮影時は[■]）に切り換わります。
  - ・顔が正面を向いていない／傾いている／極端に明るいまたは暗い／サングラスなどで隠れている／小さく写っている
  - ・顔の陰影が少ない
  - ・動きが速い
  - ・被写体が人物以外である
  - ・手ブレしている
  - ・デジタルズーム使用時
- カメラが誤って人物以外を顔と認識した場合は、[顔] 以外の設定に変更してください。

マクロ撮影モード

使えるモード： iA [ ] SCN

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

[AF] (AFマクロ)	ズームをもっとも広角(W端)にすると、レンズから5 cmまで接近して撮影できます。
[ ] (ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W端の距離(5 cm)のまま、最大3倍までデジタルズームして撮影します。 ● 通常撮影時よりも画質が劣化します。 ● ズーム領域表示は青色(デジタルズーム領域)になります。
[OFF] (OFF)	—

お知らせ

● 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
● 近距離で撮影する場合は、フラッシュを[ ]にすることをお勧めします。
● 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
● 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
● マクロ撮影時は近距離側を優先するため、被写体が遠くにある場合は、ピントが合うのに時間がかかります。
● 近距離で撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下することがありますが、故障ではありません。
● [オートフォーカスモード]の[ ]設定時は、[ズームマクロ]は使えません。
● 3D撮影時は使えません。

撮影メニューを使う（続き）

クイックAF

使えるモード： iA 📷 SCN

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

[Q-AF ON]（ON）、[Q-AF OFF]（OFF）

お知らせ

- バッテリーの消耗は早くなる場合があります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- 追尾AF動作中は働きません。
- シーンモードの[夜景&人物]、[夜景]、[手持ち夜景]、[星空]、[花火]時は、[クイックAF]の設定はできません。
- 3D撮影時は[ON]に固定されます。

個人認証

- 詳しくは、60ページをお読みください。

撮影メニューの設定方法はP37へ

露出補正

使えるモード： iA 📷 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出をマイナス方向に補正してください。

露出オーバー

1 スライドバーをドラッグして露出を補正する
- 露出を補正しない場合は、"0 EV"を選んでください。

2 [終了]をタッチする
- 設定後はメニューを終了してください。
- 露出補正値は画面に表示されます。

お知らせ
- EVとは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 設定した露出補正量は、電源を切っても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの[星空]時、露出補正はできません。

撮影メニューを使う（続き）

オートブラケット

使えるモード： [iA] [📷] [□R] [SCN]

１回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に３枚撮影します。

オートブラケット±1EVの場合

1枚目

±0EV

−1EV

3枚目

＋1EV

1　露出補正時に［ ］をタッチする

2　［ ］/［ ］をタッチして露出の補正幅を設定する

- オートブラケット撮影をしない場合は、“0”（OFF）を選んでください。

3　［終了］をタッチする

- 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面に露出補正値が表示されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- **オートブラケットを設定すると、フラッシュは［ ］になります。**
- 以下の場合、オートブラケットの設定はできません。
  - ・3D撮影時
  - ・シーンモードの［変身］、［パノラマアシスト］、［手持ち夜景］、［フラッシュ連写］、［星空］、［ピンホール］、［サンドブラスト］、［フォトフレーム］
  - ・動画撮影時

暗部補正

使えるモード： [iA] [📷] [□R] [SCN]

背景と被写体の明暗差が大きい場合など、撮影状況に合わせて、コントラストや露出を自動的に補正します。

［ ］（ON）、［ ］（OFF）

お知らせ

- ［ISO感度］が［ISO100］のときでも、［暗部補正］有効時に撮影すると、［ISO感度］は［ISO100］より大きくなることがあります。
- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- ［暗部補正］有効時は、画面の［ ］が黄色になります。
- 3D撮影時は使えません。

下限シャッター速度

使えるモード：

下限シャッター速度を遅く設定すると、暗い場所での撮影時に明るく撮影できます。
また、速く設定すると、被写体のブレを軽減して撮影することができます。

[MIN AUTO](オート)、[MIN 1/125](1/125)、[MIN 1/60](1/60)、[MIN 1/30](1/30)、[MIN 1/15](1/15)、
[MIN 1/8](1/8)、[MIN 1/4](1/4)、[MIN 1/2](1/2)、[MIN 1](1)

下限シャッター速度設定	1/125 秒	1 秒
明るさ	暗くなる	明るくなる
手ブレ	少ない	多い

お知らせ

- 通常は、[オート]に設定してお使いください。([オート]以外を選択した場合、画面に[MIN]が表示されます)
- [オート]を選ぶと、手ブレ補正設定時にブレ量が少ないとき、または[手ブレ補正]が[OFF]のときにシャッタースピードは最大 1 秒になります。
- [下限シャッター速度]を遅く設定するときは、手ブレが起きやすいため三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- [下限シャッター速度]を速く設定するときは、暗く写りやすいので、明るいところで撮影することをお勧めします。適正露出でないとき、シャッターボタンを半押しすると[MIN]が赤く点滅します。
- 3D撮影時は[オート]に固定されます。

超解像

使えるモード：

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影することができます。

[I.R ON](ON)	[超解像]が働きます。
[I.R iA ZOOM](iA ズーム)	[超解像]が働き、ほとんど画質を劣化させずにズーム倍率を約1.3倍上げることができます。
[I.R OFF](OFF)	—

お知らせ

- iAズームについては51ページをお読みください。
- 3D撮影時は[ON]に固定されます。

撮影

撮影メニューを使う（続き）

デジタルズーム

使えるモード： [iA][カメラ][連写][SCN]

光学ズーム、EX光学ズーム、またはiAズームよりも、さらに拡大することができます。

[ ]（ON）、[ ]（OFF）

お知らせ

- 詳しくは、51ページをお読みください。
- ズームマクロ撮影時は[ON]に固定されます。

連写

使えるモード： [iA][カメラ][連写][SCN]

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

連写速度	特徴	最大記録コマ数
[ ]（2コマ/秒）	●撮影ごとにピント、露出、ホワイトバランスを調整して連写します。	100コマ
[ ]（4コマ/秒）		
[ ]（8コマ/秒）	●ピント、露出、ホワイトバランスは1コマ目に固定されます。	12コマ
[ ]（OFF）	―	―

お知らせ

- [ ]、[ ]設定時は、連写速度を優先するため、可能な範囲でのピント予測を行います。そのため、高速で動く被写体を追いながら撮影した場合、ピントが合いにくかったり、またピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- [ ]設定時は、被写体の明るさの変化によっては、2コマ目以降が明るく撮れたり、暗く撮れたりする場合があります。
- セルフタイマー使用時の連写コマ数は、3コマに固定されます。
- 暗いところやISO感度が高い場合など、撮影環境によっては、連写速度（コマ/秒）が遅くなることがあります。
- 連写設定は、電源を切っても記憶しています。
- 内蔵メモリーで連写を行った場合は、書き込みに時間がかかります。
- **連写を設定すると、フラッシュは[ ]になります。**
- 以下の場合、連写の使用はできません。
  - ・3D撮影時
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[手持ち夜景]、[フラッシュ連写]、[星空]、[花火]、[ピンホール]、[フォトフレーム]

カラーモード

使えるモード： iA 📷

画像をくっきりしたり、柔らかくする、またはセピア色にするなど、色の効果を設定します。

[STD.](標準)	標準的な設定
[Happy](HAPPY)※1	明るさと鮮やかさが強調された画像
[NAT](ナチュラル)※2	柔らかい画像
[VIVID](ヴィヴィッド)※2	くっきりとした画像
[B/W](白黒)	白黒画像
[SEPIA](セピア)	セピア色の画像
[COOL](クール)※2	青っぽい画像
[WARM](ウォーム)※2	赤っぽい画像

※1 インテリジェントオートモード時のみ設定できます。
※2 通常撮影モード時のみ設定できます。

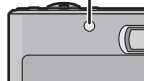
お知らせ
- 3D撮影時は[標準]に固定されます。

AF補助光

使えるモード： 📷 SCN

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。（撮影に応じて大きなAFエリアが表示されます）

[AF ON](ON)、[AF OFF](OFF)

お知らせ
- 補助光の有効距離は1.5 mです。
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所でAF補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF]に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- シーンモードの[自分撮り]、[風景]、[夜景]、[手持ち夜景]、[夕焼け]、[花火]、[空撮]では、AF補助光は [OFF] に固定されます。
- 3D撮影時は[ON]に固定されます。

撮影メニューを使う（続き）

デジタル赤目補正

使えるモード：

赤目軽減（[ ]、[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

[ ]（ON）、[ ]（OFF）

お知らせ

- [オートフォーカスモード]が[ ]で顔認識しているときのみ働きます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- 3D撮影時は使えません。

手ブレ補正

使えるモード：

撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正し、ブレの少ない画像を撮ることができます。

[ ]（ON）、[ ]（OFF）

お知らせ

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - ・手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、手ブレ補正は[ON]に固定されます。
  - ・3D撮影時
  - ・シーンモードの[自分撮り]、[手持ち夜景]
  - ・動画撮影時
- シーンモードの[星空]では[OFF]に固定されます。

日付焼き込み

使えるモード： SCN

撮影日時入りの写真を撮影できます。

[DATE]（日付）	年月日を焼き込みます。
[TIME]（日時）	年月日時分を焼き込みます。
[OFF]（OFF）	—

お知らせ
- **[日付焼き込み]を設定して撮影した写真の日付情報は、消すことができません。**
- **日付焼き込みされた写真をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 時計設定を行っていないと、日付情報を焼き込むことができません。
- 以下の場合、日付焼き込みは[OFF]に固定されます。
  - ・3D撮影時
  - ・シーンモードの[パノラマアシスト]、[フラッシュ連写]
  - ・撮影メニューの[オートブラケット]、[連写]
  - ・動画撮影時
- [日付焼き込み]を設定して撮影した写真は、[文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]、[トリミング(切抜き)]の設定はできません。
- [日付焼き込み]を[OFF]にして撮影しても、[文字焼き込み](P91)を使って撮影画像に日付を焼き込んだり、日付プリント(P98、116)を設定することができます。

3D視差調整

使えるモード： SCN

お好みの飛び出し具合に設定して3D画像を撮影できます。

[-2](最小)、[-1](小)、[±0](標準)、[+1](大)、[+2](最大)

お知らせ
- [最大]に近いほど、近い被写体はより飛び出して見えます。
- [最小]に近いほど、近い被写体でも鑑賞しやすくなります。
- 事前に試し撮りをし、効果を確認(P23)することをお勧めします。

時計設定

- 詳しくは、17ページをお読みください。

撮影

動画撮影メニューを使う

撮影モード

使えるモード： [iA] [●] [SCN]

動画のデータ形式を設定します。

[AVCHD]	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
[MP4]	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

お知らせ

- ワイド&ズーム同時撮影モード時は、他の撮影モードで設定した内容が反映されます。
- 3D撮影時は使えません。

画質設定

使えるモード： [iA] [●] [SCN]

記録する動画の画質を設定します。

[AVCHD]を選んだ場合

項目	画質（ビットレート）	コマ数	画像横縦比
[FSH]	1920×1080画素／約 17 Mbps	60i（センサー出力 30コマ／秒）	16:9
[SH]	1280×720画素／約 17 Mbps	60p（センサー出力 30コマ／秒）	

- 3D撮影時はサイドバイサイド形式で記録され、以下の画質に固定されます。

画質	コマ数	画像横縦比
1920×1080画素	60i（センサー出力 30コマ／秒）	16:9

[MP4]を選んだ場合

項目	画質（ビットレート）	コマ数	画像横縦比
[FHD]	1920×1080画素／約 20 Mbps	30 コマ／秒	16:9
[HD]	1280×720画素／約 10 Mbps		
[VGA]	640×480画素／約 4 Mbps		4:3

お知らせ

- 「ビットレート」とは一定時間当たりのデータの量で、数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間当たりのデータの量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- ワイド&ズーム同時撮影モード時は、他の撮影モードで設定した内容が反映されます。

動画撮影メニューの設定方法はP37へ

AF連続動作

使えるモード：

一度ピントを合わせた被写体にピントを合わせ続けます。

[C-AF ON]（ON）、[C-AF OFF]（OFF）

お知らせ

- 動画撮影開始時のピント位置で固定したい場合は、[OFF] に設定してください。
- シーンモードの[星空]、[花火]では[OFF]に固定されます。
- 3D撮影時は[ON]に固定されます。

風音低減

使えるモード：

音声記録時の風雑音を記録しにくくします。

[ ]（ON）、[ ]（OFF）

お知らせ

- 風音低減を設定しているときは、通常と音質が異なる場合があります。
- 3D撮影時は設定できません。2D撮影時に設定した内容が反映されます。

撮影

いろいろな再生方法

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 再生状態で[ ]をタッチする

2 再生モードアイコンをタッチする

- 以下の項目を選択できます。

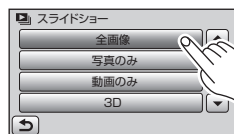
[通常再生](P32)	[2画面再生](P87)
[スライドショー](P84)	[カレンダー検索](P87)
[絞り込み再生](P86)	

- 3D画像を3Dで再生する方法については、23ページをお読みください。

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。
また、写真のみや、動画のみ、3D画像のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

1 再生するグループをタッチする

- [カテゴリー選択]時は、再生したいカテゴリーをタッチしてください。
  カテゴリーの詳細については86ページをお読みください。

2 [開始]をタッチする

■ スライドショー中の操作

1　画面をタッチしてコントロールパネルを表示する

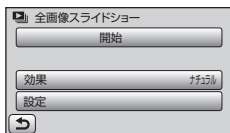
● 約2秒間何も操作しないと元の状態に戻ります。

2　コントロールパネルをタッチして操作する

▶/II	再生 / 一時停止	■	スライドショーを終了する
⏮	前の画像へ (一時停止中/動画再生中)	⏭	次の画像へ (一時停止中/動画再生中)
+	音量上げる	−	音量下げる

● スライドショーを終了すると、通常再生になります。

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

[効果]

画像が切り換わる際の画面効果、音楽効果を選ぶことができます。

[ナチュラル]、[スロー]、[スウィング]、[アーバン]、[OFF]、[おまかせ]

● [アーバン]を選んだときは、画面効果として画像が白黒になることがあります。
● [おまかせ]は、[カテゴリー選択]選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。
● [動画のみ]のスライドショー時、[効果]は[OFF]に固定されます。
● 縦向きに表示された画像を再生するときは、一部の[効果]は動作しません。

[設定]

再生間隔やリピートを設定できます。

項目	設定内容
[再生間隔]	1 秒、2 秒、3 秒、5 秒
[リピート]	ON、OFF
[音設定]	[OFF]:　音を出しません。 [AUTO]:　写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]:　音楽を再生します。 [音声]:　音声(動画のみ)を再生します。

● [再生間隔]は、[効果]を[OFF]に設定しているときのみ設定できます。

いろいろな再生方法（続き）

絞り込み再生

画像の種類で分類して再生します。

項目	設定内容
[写真のみ]	写真のみが再生されます。
[動画のみ]	動画のみが再生されます。
[3D]	3D画像のみが再生されます。
[カテゴリー選択]	シーンモードなどのカテゴリー（人物･風景･夜景など）を検索し、各カテゴリーごとに画像を分類します。 各カテゴリーごとに再生することができます。 **再生したいカテゴリーをタッチする** ●画像が見つかったカテゴリーのみ選択できます。 カテゴリー選択 カテゴリー検索中
[お気に入り]	[お気に入り]設定（P96）した画像を再生することができます。

■ 分類されるカテゴリーについて

[カテゴリー選択]時は、以下のように分類されます。

	シーンモードなどの撮影情報
	個人認証※
	人物、i人物、夜景&人物、i夜景&人物、美肌、赤ちゃん、i赤ちゃん、自分撮り、変身
	風景、i 風景、夕焼け、i夕焼け、空撮
	夜景、i 夜景、夜景&人物、i 夜景&人物、星空、手持ち夜景、i 手持ち夜景
	スポーツ、パーティー、キャンドル、花火、ビーチ、雪、空撮
	赤ちゃん、i赤ちゃん
	ペット
	料理
	トラベル日付

※再生したい人物をタッチして再生してください。

2画面再生

撮影した画像を２枚並べて表示して、比較することができます。

お知らせ

- 撮影した画像が１枚以下のときは[2画面再生]を選択できません。
- 同じ画像を同時に表示することはできません。
- 動画は2画面再生できません。
- セットアップメニューと再生メニューは使えません。

カレンダー検索

撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 [▲]/[▼]をタッチして再生したい月を選ぶ

- 撮影した画像が１枚もない月は表示されません。
- [ ]をタッチするとマルチ再生画面が表示されます。

2 再生したい日付を選び、[決定]をタッチする

3 再生したい画像をタッチする

- [CAL]をタッチすると、カレンダー検索表示画面に戻ります。

お知らせ

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年１月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2011年１月１日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生メニューを使う

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を切り抜くなどの編集やプロテクト設定などができます。

- [文字焼き込み]、[リサイズ(縮小)]または[トリミング(切抜き)]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量がない場合、新しい画像を作成することができませんので、容量に余裕があることを確認してから画像の編集を行うことをお勧めします。

WEBアップロード設定

画像共有サイト(LUMIX CLUB(PicMate)/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。

- LUMIX CLUB(PicMate)、Facebookへは写真と動画を、YouTubeへは動画のみをアップロードすることができます。
- **内蔵メモリーの画像には設定できません。**
  カードにコピー(P101)してから[WEBアップロード設定]をしてください。

1 再生メニューから[ ](WEBアップロード設定)を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

1 アップロードしたい画像をタッチする(繰り返す)

- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

2 [実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

再生メニューの設定方法はP37へ

■ 画像共有サイトへアップロードする

[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)がカードへ自動的にコピーされます。
パソコンに接続したあと(P110)、アップロードの操作を行います。詳しくは、113ページをお読みください。

■ [WEBアップロード設定]を全解除する

1 再生メニューから[WEBアップロード設定]を選ぶ

2 [CANCEL](全解除)をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 他機で撮影された画像には、設定できない場合があります。
- 512 MB未満のカードでは設定できません。

再生・編集

再生メニューを使う（続き）

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み](P91)で撮影画像に焼き込むことができます。

1 再生メニューから[ ](タイトル入力)を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 文字を入力したい画像を選ぶ

● すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

[1枚設定]選択時

1 画面を水平にドラッグして画像を選ぶ
2 [決定]をタッチする

[複数設定]選択時

1 画像をタッチする(繰り返す)
● もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。
2 [実行]をタッチする

4 文字を入力する(P63)

● 設定後はメニューを終了してください。

お知らせ

● タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
● CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
● [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
● 3D画像、動画、他機で撮影された画像はタイトル入力できません。

再生メニューの設定方法はP37へ

文字焼き込み

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

1 再生メニューから[ ](文字焼き込み)を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 文字を焼き込みたい画像を選ぶ

● すでに日付/文字焼き込みされた画像には、画面に[ ]が表示されます。

[1枚設定]選択時

1 画面を水平にドラッグして画像を選ぶ

2 [決定]をタッチする

[複数設定]選択時

1 画像をタッチする(繰り返す)
- もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。

2 [実行]をタッチする

4 [設定]をタッチする

再生メニューを使う（続き）

5 焼き込む項目を選ぶ

項目	設定内容
[撮影日時]	[OFF] [日付]：年月日を焼き込みます。 [日時]：年月日時分を焼き込みます。
[名前]	[OFF] [ ](個人認証名)：[個人認証]で登録された名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット)： シーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の名前設定で登録された名前を焼き込みます。
[旅行先]	[OFF] [ON]：[旅行先]で設定された旅行先名を焼き込みます。
[トラベル日付]	[OFF] [ON]：[トラベル日付]で設定されたトラベル日付を焼き込みます。
[タイトル]	[OFF] [ON]：[タイトル入力]で入力されたタイトルを焼き込みます。

6 [ ]をタッチする

7 [実行]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 0.3Mより小さい画像に文字焼き込みする場合、文字は読みづらくなります。
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - ・3D画像
  - ・動画
  - ・時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
  - ・日付/文字焼き込みされた画像
  - ・他機で撮影された画像

動画分割

撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。**分割すると、元に戻すことができません。**

1 再生メニューから[ ](動画分割)を選ぶ

2 画面を水平にドラッグして分割編集したい動画を選び、[決定]をタッチする

3 分割したい位置で[▶/II]をタッチする

- もう一度[▶/II]をタッチすると、続きから動画が再生されます。
- 一時停止中に[◀II]/[II▶]をタッチすると、分割位置の細かい調整をすることができます。

4 [ ]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。

お知らせ

- 他機で撮影された動画は分割できない場合があります。
- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- [MP4]動画の場合、分割すると画像の順番が変わります。
  [カレンダー検索]や[絞り込み再生]の[動画のみ]で検索することをお勧めします。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

再生メニューを使う（続き）

リサイズ(縮小)　画像サイズ(画素数)を小さくする

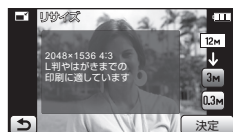
ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

1 再生メニューから[ ](リサイズ(縮小))を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

1. 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする
2. 変更したいサイズをタッチして、[決定]をタッチする
   - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

1. 変更したいサイズをタッチする
2. 画像をタッチする(繰り返す)
   - もう一度同じ画像をタッチすると選択が解除されます。
3. [実行]をタッチする
   - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はリサイズ(縮小)できない場合があります。
- 3D画像、動画、日付/文字焼き込みされた画像はリサイズ(縮小)できません。

再生メニューの設定方法はP37へ

✂トリミング(切抜き)　画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 再生メニューから[✂](トリミング(切抜き))を選ぶ

2 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定]をタッチする

3 切り抜く部分を選ぶ

[🔍+]をタッチ:　拡大
[🔍−]をタッチ:　縮小
ドラッグ:　移動

4 [決定]をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミング(切抜き)できない場合があります。
- 3D画像、動画、日付/文字焼き込みされた画像はトリミング(切抜き)できません。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

再生メニューを使う（続き）

★お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。（[絞り込み再生]の[お気に入り]）
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。（[★以外全消去]）

1 再生メニューから[★](お気に入り)を選ぶ

2 [★S](1枚設定)または[★M](複数設定)をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする
- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

お気に入り設定したい画像をタッチする
- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■[お気に入り]設定を全解除する

1 再生メニューから[お気に入り]を選ぶ

2 [CANCEL★](全解除)をタッチする
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ
- 999枚まで設定できます。
- 他機で撮影された画像では、[お気に入り]設定ができない場合があります。

再生メニューの設定方法はP37へ

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、カードにコピー(P101)してから[プリント設定]の設定をしてください。

1 再生メニューから[ ](プリント設定)を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

[複数設定]選択時

プリント設定したい画像をタッチする

4 [▲]/[▼]をタッチしてプリント枚数を設定し、[決定]をタッチする

- [複数設定]選択時は、手順**3**、**4**を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- 設定後はメニューを終了してください。

再生メニューを使う（続き）

■ [プリント設定]を全解除する

1 再生メニューから[プリント設定]を選ぶ

2 [CANCEL]（全解除）をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付/文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

お知らせ

- プリント枚数は0から999枚まで設定できます。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 他機で設定した[プリント設定]は利用できない場合があります。そのときはすべて解除してから再設定してください。
- 動画はプリント設定できません。
- DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

1 再生メニューから[ ](プロテクト)を選ぶ

2 [ ](1枚設定)または[ ](複数設定)をタッチする

3 画像を選ぶ

[1枚設定]選択時

画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチする

- [解除]をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

[複数設定]選択時

プロテクトしたい画像をタッチする

- もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます。
- 設定後はメニューを終了してください。

■ [プロテクト]設定を全解除する

1 再生メニューから[プロテクト]を選ぶ

2 [ ](全解除)をタッチする

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

再生メニューを使う（続き）

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

1. 再生メニューから [ ]（認証情報編集）を選ぶ
2. [ ]（入れ換え）または [ ]（解除）をタッチする
3. 画面を水平にドラッグして画像を選び、[決定] をタッチする
4. 編集したい人物の名前をタッチする
5. （[入れ換え] 選択時）入れ換えたい人物の画像をタッチする
   - 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
     実行後はメニューを終了してください。

お知らせ

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー選択]（絞り込み再生）の個人認証に分類されません。
- プロテクトされた画像は認証情報編集できません。

画像コピー　内蔵メモリーの画像をコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、カードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

1 再生メニューから[ ](画像コピー)を選ぶ

2 画像データのコピー方向をタッチする

: 内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。

: カードから内蔵メモリーへ1枚ずつコピーされます。
画面を水平にドラッグして画像を選び、[設定]をタッチしてください。

- 確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行されます。
  実行後はメニューを終了してください。
- コピー中は電源を切らないでください。

お知らせ

- [ ]時、コピーする画像と同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、新しいフォルダーを作成してコピーします。
  [ ]時は、同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。
- コピーに時間がかかる場合があります。
- [プリント設定]、[プロテクト]設定または[お気に入り]設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- 3D動画、[AVCHD]で撮影された動画はコピーできません。

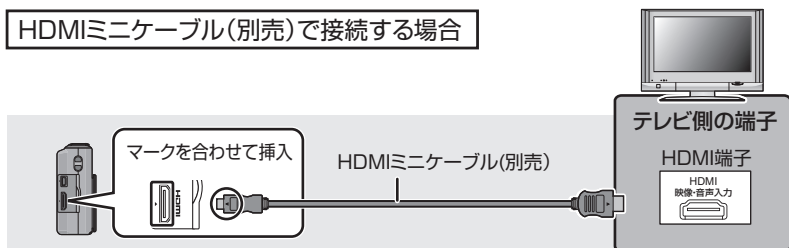
テレビで見る

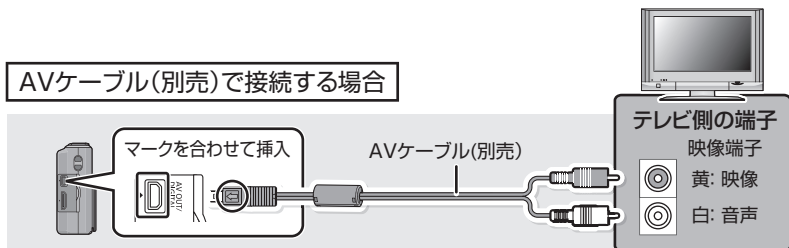
本機で撮影した画像をテレビ画面で再生できます。
準備：本機の電源を切り、テレビの電源も切っておく。

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）

HDMIミニケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  - 品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）
- 音声はステレオで再生されます。
- 液晶モニターに画像は表示されません。
  - [ビエラリンク]が[OFF]のとき：操作用のタッチアイコンが表示されます。
  - [ビエラリンク]が[ON]のとき：操作用のタッチアイコンは表示されません。
- 再生機能の一部は制限されます。
- 再生メニューおよびセットアップメニューは使用できません。
- ビエラリンク（HDMI）を使って再生する場合、詳しくは104ページをお読みください。
- 3D再生をする場合は、HDMI ミニケーブル（別売）でつないでください。（P23）

AVケーブル（別売）で接続する場合

- 当社製 AVケーブル（別売）をお使いください。
  - 品番：DMW-AVC1
- [TV画面タイプ]（P45）を確認してください。
- 音声はモノラルで再生されます。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、再生モードにする

お知らせ

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- AVケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、HDMIミニケーブルからの出力が優先されます。
- USB接続ケーブルとHDMIミニケーブルを同時に接続しているときは、USB接続ケーブルでの接続が優先されます。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画像が表示される際、テレビの機種によって画像が乱れる場合があります。
- [2画面再生]は選択できません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した写真を再生することができます。

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- [AVCHD]で撮影した動画は、AVCHDのロゴマークが付いている当社製テレビ(ビエラ)で再生することができます。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

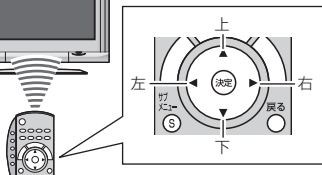
ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIミニケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。(2010年12月現在)

準備：[ビエラリンク](P46)を[ON]に設定する。

1 **HDMIミニケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P102)**

2 **本機の電源を入れ、再生モードにする**

3 **テレビのリモコンで操作する**

- 画面に表示される操作アイコンを参考に操作してください。

お知らせ

- 動画の音声を再生するには、本機のスライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- 操作アイコン表示中にしばらく何も操作しないと、操作アイコンが非表示になります。
  また操作アイコン非表示中に以下のボタンのいずれかを押すと、操作アイコンが表示されます。
  ・▲/▼/◀/▶、[決定]、[サブメニュー]、[赤]、[緑]、[黄]
- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをお勧めします。
- 本機の操作は制限されます。

■ その他の連動操作について

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。
  （テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、128ページをご確認ください。

お知らせ

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。

- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 当社製HDMIミニケーブル（別売）をお使いください。
  ・品番：RP-CDHM15（1.5 m）、RP-CDHM30（3.0 m）

記録した写真や動画を残す

本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、MPO、AVCHD、MP4、3D動画)によって他の機器への取り込み方法が異なります。お使いの機器により、以下の方法をお選びください。

SDカードをレコーダーに入れてダビングする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、MPO)/ 動画 (AVCHD、MP4、3D動画)

当社製ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーに本機で撮影したSDカードを入れると、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスクにダビングすることができます。3Dに対応したレコーダーでダビングすると、3D写真や動画は3Dのまま記録されます。

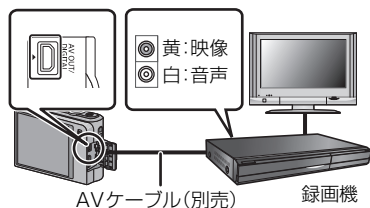
本機で撮影したSDカードを直接入れてダビングできる機器、AVCHD、MP4、3Dそれぞれに対応した機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- ダビングした画像が3Dに切り換わらなかった場合は、テレビ側で必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)

AVケーブルを使って再生映像をダビングする

取り込み可能なファイル形式: 動画 (AVCHD、MP4)

本機で再生した映像をブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなどを使い、ブルーレイディスクやDVDディスク、ハードディスク、ビデオなどにダビングします。ハイビジョン対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。このとき映像はハイビジョンではなく、標準の画質になります。

1 本機と録画機をAVケーブル(別売)で接続する
2 本機で再生を始める
3 録画機で録画を始める
- 録画(ダビング)を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ
- 横縦比が4:3のテレビでご覧になる場合は、必ず本機の[TV画面タイプ](P45)を[4:3]に設定してダビングしてください。[16:9]に設定してダビングした動画を4:3のテレビで見ると、縦長の映像になります。
- 表示されるタッチアイコンなども記録されます。
- ダビングや再生方法など詳しくは、録画機の取扱説明書をお読みください。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンにコピーする

取り込み可能なファイル形式: 写真 (JPEG、MPO)/ 動画 (AVCHD、MP4、3D動画)

- 詳しくは、109ページの「「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに取り込む」をお読みください。

パソコンと接続する

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことなどができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。(撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください)
カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。

■ 使用できるパソコン

	Windows			Mac
	98/98SE以前	Me/2000	XP/Vista/7	OS 9/OS X
PHOTOfunSTUDIOは使える?	使えません		使えます※1	使えません
3D動画、[AVCHD]動画をパソコンに取り込める?	取り込めません		取り込めます※2	取り込めません
[MP4]動画をパソコンに取り込める?	取り込めません	取り込めます		取り込めます(OS 9.2.2/OS X [10.1～10.7])
写真をパソコンに取り込める?	取り込めません	取り込めます		取り込めます(OS 9.2.2/OS X [10.1～10.7])

- Windows 98/98SE以前またはMac OS 8.x以前のパソコンは、USB接続はできませんが、SDメモリーカードリーダー/ライターが利用できれば取り込めます。

※1 Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。
お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※2 3D動画、[AVCHD] 動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。

パソコンと接続する（続き）

■ 付属のソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO（Windows XP/Vista/7）
パソコンに2D･3D写真や3D動画、[AVCHD]、[MP4]で撮影した動画を取り込んだり、取り込んだ画像は撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。 [AVCHD]で撮影した動画から、従来の標準画質のDVDビデオを作成することもできます。 また、DVDへの画像書き込みや、複数の写真をつなぎ合わせて1枚のパノラマ写真に合成したり、お好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成することなどができ、それらをDVDに保存することもできます。

QuickTime（画像再生ソフト）（Windows XP/Vista/7）
PHOTOfunSTUDIOで、パノラマ画像を作成、再生するために必要なソフトウェアです。 デジタルカメラで撮影した動画（拡張子 .MP4、.MOV）を再生することもできます。

LoiLoScope -30日間フル体験版（Windows XP/Vista/7）
LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、かんたんに動画編集できるソフトウエアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、すばやく動画や写真を友達に届けることができます。 ●インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。 ●**LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。** **使い方Webサイト：http://loilo.tv/product/20**

「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンに取り込む

ソフトウェアをインストールする

●CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1　お使いのパソコンの環境を確認する

●「PHOTOfunSTUDIO 7.0 HD Edition」の動作環境

項目		
対応OS	Windows® XP(32 bit) SP2/SP3 Windows Vista®(32 bit)および SP1/SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit)および SP1	
CPU	Windows® XP	Pentium® Ⅲ 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® Ⅲ 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® Ⅲ 1 GHz以上
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

2　CD-ROMを入れる

●インストールメニューが起動します。

3　[アプリケーション]をクリックする

4　[おまかせインストール]をクリックする

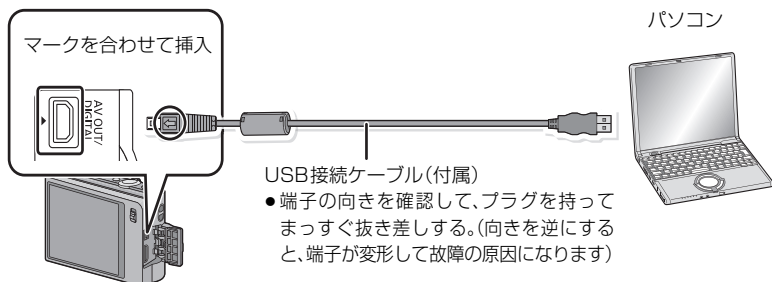
●画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

お知らせ

●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
●PHOTOfunSTUDIOはMacでは使えません。

パソコンと接続する（続き）

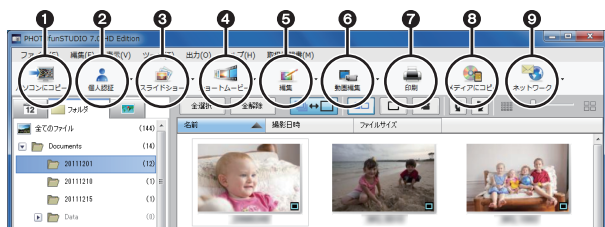
パソコンに画像を取り込む

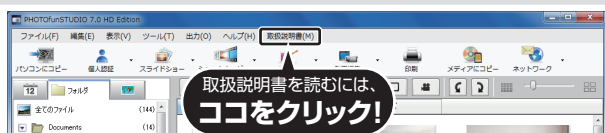
準備：本機とパソコンの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。「安全にUSB接続ケーブルを取り外す」（P111）をお読みのうえ、USB接続ケーブルを抜いてください。データが破壊されるおそれがあります。

1 USB接続ケーブル（付属）を本機とパソコンに挿入する

- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

2 [PC] をタッチする

- セットアップメニューで[USBモード]（P45）を[PC]に設定しておくと、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にPC と接続します。
- [USBモード]を[PictBridge（PTP）]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示されることがあります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外したあと、[USBモード]を[PC]に設定し直してください。
- PHOTOfunSTUDIOを自動起動に設定している場合は、画像取り込みパネルが自動的に開きます。

❶ パソコンにコピー	パソコンに画像を取り込みます。
❷ 個人認証	登録した顔別に画像を自動分類します。
❸ スライドショー	画像を順番に再生します。
❹ ショートムービー	画像を選んで、数分のビデオ作品に仕上げます。
❺ 編集	画像補正やパノラマ合成など、写真の編集を行います。
❻ 動画編集	動画からの写真生成など、動画の編集を行います。
❼ 印刷	印刷の設定を行います。
❽ メディアにコピー	画像をSDカードやCD-Rなどのメディアにコピーします。
❾ ネットワーク	画像を電子メールに添付したり、インターネット上へアップロードします。

詳しい説明は、**PHOTOfunSTUDIO 取扱説明書**（PDF ファイル）をご覧ください。

■ 安全にUSB接続ケーブルを取り外す

パソコンの画面でタスクトレイの「 」アイコンを選び、「DMC-3D1の取り出し」をクリックする

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。
- アイコンが表示されていない場合は、デジタルカメラの液晶モニターに[通信中]が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- 取り込んだファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

パソコンと接続する（続き）

写真、[MP4]動画を取り込む（3D動画、[AVCHD]動画以外）

1　本機とパソコンを接続する

●接続のしかたについては、110ページ「パソコンに画像を取り込む」をお読みください。

2　パソコンを操作する

●取り込みたい画像の入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

■ 内蔵メモリー/カードの中をパソコンで見る（フォルダー構造）

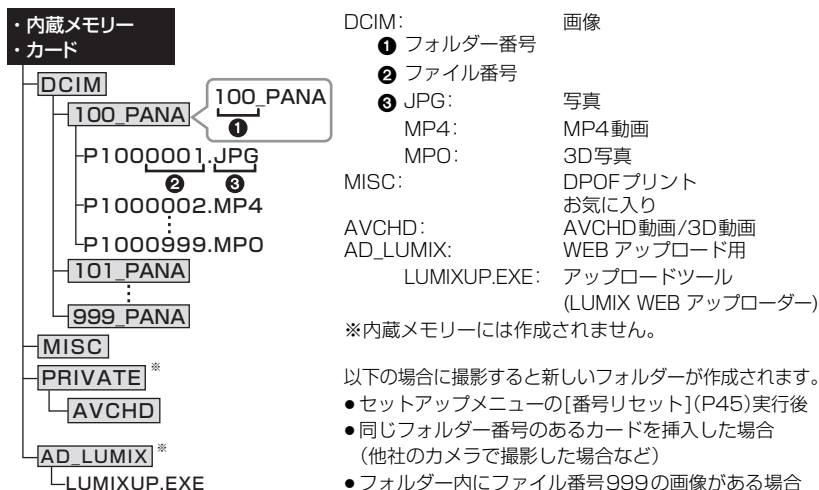
Windowsの場合：　「コンピューター」にドライブ（「リムーバブルディスク」）を表示

Macの場合：　デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」）を表示

DCIM：　画像
　❶ フォルダー番号
　❷ ファイル番号
　❸ JPG：　写真
　　MP4：　MP4動画
　　MPO：　3D写真
MISC：　DPOFプリント
　　お気に入り
AVCHD：　AVCHD動画/3D動画
AD_LUMIX：　WEB アップロード用
　　LUMIXUP.EXE：　アップロードツール
　　(LUMIX WEB アップローダー)

※内蔵メモリーには作成されません。

以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

●セットアップメニューの[番号リセット]（P45）実行後
●同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合
（他社のカメラで撮影した場合など）
●フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

■ PTPモードで接続する
（Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7/Mac OS Xのみ）

[USBモード]を[PictBridge（PTP）]にしてください。

●カードからパソコンへの読み込みのみ可能です。
●PTPモードでカードの中に1000枚以上の画像があると、取り込めない場合があります。
●PTPモードで動画、3D写真は再生できません。

画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)を使って、写真や動画を画像共有サイト(LUMIX CLUB(PicMate)/Facebook/YouTube)へアップロードします。また、「LUMIX CLUB(PicMate)」を経由して、他の画像共有サイトに画像を送信することもできます。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。

- Windows XP/Windows Vista/Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。
- 詳しくは、LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書(PDF)をお読みください。

準備: [WEBアップロード設定](P88)で、アップロードする画像を設定しておく。
パソコンをインターネットに接続する。
利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。
LUMIX CLUB(PicMate) 経由で他の画像共有サイトに画像を送信する場合は、利用する画像共有サイトを LUMIX CLUB(PicMate) で登録しておく。

1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する(P112)
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール(LUMIX WEB アップローダー)が自動的に起動することがあります。

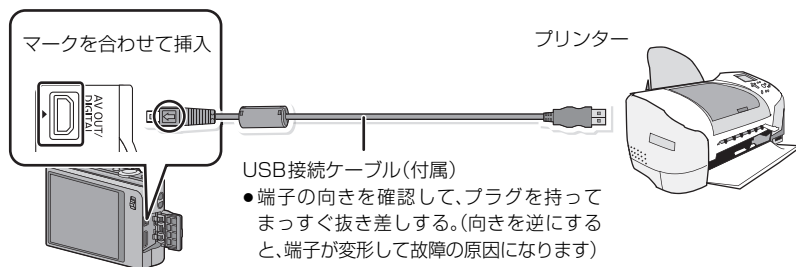
2 アップロード先を選ぶ
- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- LUMIX CLUB(PicMate)について
  - ・デジタルカメラで撮影した画像を共有・公開して楽しむ、SNS型画像共有サイトです。
    詳しくは、LUMIX CLUB(PicMate)のサイトをご覧ください。
    http://lumixclub.panasonic.net/jpn/
- YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。(本サービスは、2011年10月1日現在のものです)
- 著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。
- **画像には、タイトル、撮影日時、GPS機能を有したカメラで撮影された位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。画像共有サイトに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。**

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。
内蔵メモリーの画像をプリントするときは、カードを抜いておく。
あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。

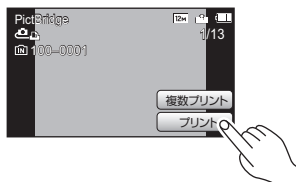
1 USB接続ケーブル(付属)を本機とプリンターに挿入する

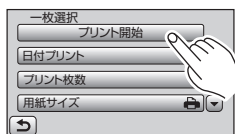
2 [PictBridge(PTP)]をタッチする

お知らせ

- [ ](ケーブル切断禁止アイコン)表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。(プリンターによって表示されない場合があります)
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- 動画はプリントできません。

画像を選んで1枚ずつプリントする

1 画面を水平にドラッグして画像を選び、[プリント]をタッチする

2 [プリント開始]をタッチする

- プリント開始前に設定できる項目については、116ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

複数の画像を選んでプリントする

1 [複数プリント]をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ●プリントしたい画像を選んでください。 （もう一度同じ画像をタッチすると設定が解除されます） ●選択が終了したら[実行]をタッチしてください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定（DPOF）	[プリント設定]で設定(P97)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P96)された画像のみをプリントします。

3 [プリント開始]をタッチする

- プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでプリントしてください。
- プリント開始前に設定できる項目については、116ページをお読みください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。

プリントする（続き）

プリントの各種設定

「画像を選んで１枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面で、それぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定 (DPOF)]選択時には、[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。

日付プリント

項目	設定内容
ON	日付プリントされます。
OFF	日付プリントされません。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- 日付/文字焼き込みされた画像をプリントする場合、日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされますので、日付プリントを[OFF]にしてください。

プリント枚数

プリントする枚数（最大999枚まで）を設定できます。

用紙サイズ

項目	設定内容
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
16:9	101.6 mm×180.6 mm
A4	210 mm×297 mm

項目	設定内容
A3	297 mm×420 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm
カード	54 mm×85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

レイアウト(本機で設定可能なレイアウト)

項目	設定内容
(プリンター)	プリンターの設定が優先されます。
(1面縁なし)	1面縁なし印刷
(1面縁あり)	1面縁あり印刷

項目	設定内容
(2面)	2面印刷
(4面)	4面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ レイアウト印刷について

1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を4枚に設定してください。

1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合

例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を[4面]、[プリント枚数]を1枚に設定してください。

お知らせ

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[日付焼き込み]/[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- **お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に[日付]をタッチするごとに日付プリントを設定/解除できます。

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]またはシーンモードの[赤ちゃん1]/[赤ちゃん2]、[ペット]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って日付プリントすることができます。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BCG10
ソフトケース	DMW-CT20
ショルダーストラップ	DMW-SSTX1
AV ケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15、RP-CDHM30

記載の品番は2011年10月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

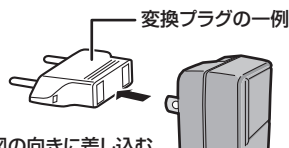
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■ 変換プラグの付け方

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C,SE	オランダ	C,SE	ギリシャ	A,B, B3,C, SE	スイス	A,B, C,SE
スウェーデン	B,C, SE	スペイン	A,C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A,C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B,C	フランス	A,C, SE	ベルギー	B,C, SE	ロシア	A,C, SE				
アジア											
インド	B,BF, B3,C	インドネシア	B,B3, C,SE	シンガポール	B,BF, B3	タイ	A,BF, C	大韓民国	A,C, SE	台湾	A,C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF, C, SE	香港特別行政区	B,BF, B3,C	マカオ特別行政区	B,BF, B3,C	マレーシア	B,BF, B3,C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B, C,O
中南米											
アルゼンチン	BF,C, SE	プエルトリコ	A,BF, C	ブラジル	A,C, SE	メキシコ	A,C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF, B3	エジプト	BF,B3, C,SE	クウェート	B,B3, C	トルコ	A,B, C,SE	南アフリカ共和国	B,BF, B3,C	モロッコ	A,C, SE

タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

■ 時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

1　撮影モード
2　撮影モード(動画撮影時)(P82)
　　画質設定(P82)
3　記録画素数(P68)
4　クオリティ(P68)
5　3D警告(P20)
6　フラッシュモード(P64)
7　手ブレ補正(P80)
　　手ブレ警告(P18):
8　フォーカス(P19)
9　AFエリア(P19)
10　ホワイトバランス(P70)
　　ブレピタモード(P27):
11　露出補正(P75)
12　カラーモード(P79)
13　連写(P78)
　　オートブラケット(P76):
14　マクロ撮影モード(P73)
15　バッテリー残量(P11)
16　追尾 AF(P72)
17　AF補助光(P79)
18　暗部補正(P76)
19　風音低減(P83)
20　撮影モード選択(P25)
21　再生モード選択(P84)
22　ズーム操作(P52)
23　液晶モード(P42)
　　液晶パワーセーブ(P44):
24　タッチシャッター(P49)
25　日付焼き込み(P81)
26　ヒストグラム表示(P43)
27　セルフタイマーモード(P67)
28　シャッタースピード(P26)
　　下限シャッター速度(P77): MIN 1
29　絞り値(P26)
30　ISO感度(P69)
31　現在日時
　　ワールドタイム(P40):
　　トラベル経過日数(P41)
　　旅行先(P41)
　　名前(P57)
　　月齢/年齢(P57)
　　ズーム表示(P51):
　　EZ iA ZOOM W T 1X
32　タッチ AF/AE 解除(P50)
33　DISPLAY(P48)
34　MENU(P37)
　　記録経過時間※(P29): XXhXXmXXs
35　ショートカット設定エリア(P39)
36　スポットAFエリア(P72)
37　記録動作
38　内蔵メモリー(P14)
　　カード(P14): (記録時のみ表示)
39　記録可能枚数(P15)
　　記録可能時間※(P29): 残XXhXXmXXs

再生時

1　再生モード(P84)
2　撮影モード(動画撮影時)(P82)
　　画質設定(P82)
3　プロテクト(P99)
4　お気に入り(P96)
5　日付/文字焼き込み済み表示
　　(P81、91)
6　カラーモード(P79)
7　再生(動画)(P34)
8　プリント枚数(P97):1
9　記録画素数(P68)
10　クオリティ(P68)
11　再生経過時間※(P34):XXhXXmXXs
12　バッテリー残量(P11)
13　画像番号/トータル枚数
14　パワーLCD(P42)
　　液晶パワーセーブ(P44):ECO
15　ヒストグラム表示(P43)
16　撮影モード選択(P25)
17　再生モード選択(P84)
18　消去(P36)
19　マルチ再生(P33)
20　旅行先(P41)
　　撮影情報(P48)
　　名前(P57、62)
　　月齢/年齢(P57)
　　タイトル(P90)
21　トラベル経過日数(P41)
　　撮影日時/ワールドタイム(P40):
22　DISPLAY(P48)
23　MENU(P37)
24　ショートカット設定エリア(P39)
25　動画記録時間※(P34):XXhXXmXXs
26　フォルダー・ファイル番号(P112)
　　内蔵メモリー(P14)
　　ケーブル切断禁止アイコン(P114)
※　h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。

メッセージ表示

確認/エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	原因・対策
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから(P99)消去をしてください。
消去できない画像があります/この画像は消去できません	DCF規格に準拠していない画像は消去できません。 パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)してください。
この画像には設定できません	DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]ができません。
内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合(一括コピー)、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました/画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーできません。 ●コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合(カードから内蔵メモリーへのコピー時のみ) ●DCF規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーできない場合があります。
内蔵メモリーエラー フォーマットしますか?	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマット(P46)し直してください。データは消去されます。
メモリーカードエラー 本機では使えない状態です。 フォーマットしますか?	本機では使用できないフォーマットです。 ●別のカードを入れてお試しください。 ●パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)し直してください。 データは消去されます。
電源を入れ直してください/システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー/ カードのパラメータが異常です/ このカードは使用できません	本機に対応したカードをお使いください。(P14) ●SDメモリーカード(8 MB～2 GB) ●SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB) ●SDXCメモリーカード(48 GB、64 GB)
カードを入れ直してください/別のカードでお試しください	●カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 ●miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードは、必ずアダプターに入れてから本機に挿入してください。 ●別のカードを入れてお試しください。

メッセージ	原因・対策
リードエラー/ライトエラー カードを確認してください	●データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源を切ってからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を入れて記録または読み込みしてください。 ●カードが破壊されている可能性があります。 ●別のカードを入れてお試しください。
カードの書込み速度不足のため記録を終了しました	●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ●「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P46)することをお勧めします。 カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
放送方式(NTSC/PAL)の異なるデータが存在するため、記録できません。	●パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)してください。 ●別のカードを入れてお試しください。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。 パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P46)してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P45)
16:9TV用で出力します/ 4:3TV用で出力します	●[TV画面タイプ]を変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。(P45) ●USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、メッセージが表示されます。 USB接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。(P110、114)
このバッテリーは使えません	●パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

Q & A　故障かな？と思ったら

まず、以下の方法（P124～130）をお試しください。

それでも解決できない場合は、**撮影モードでセットアップメニューの[設定リセット]（P45）を行うと症状が改善する場合があります。**

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を入れても動作しない。またはすぐに切れる。	●バッテリーが消耗しています。充電してください。 ●電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。 →[エコモード]（P44）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。
電源が勝手に切れる。	●ビエラリンク（HDMI）対応のテレビとHDMIミニケーブル（別売）で接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。 →ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の[ビエラリンク]を[OFF]に設定してください。（P46）
カード/バッテリー扉が閉じない	●バッテリーを確実に奥まで挿入してください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	●レンズカバーが閉まっていませんか？ →レンズカバーを下げてください。 ●内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ →不要な画像を消去して容量を増やしてください。（P36） ●容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。
撮影した画像が白っぽい。	●レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。 →汚れたときは、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽くふき取ってください。レンズをふいたあとは、[自動3D調整]を行ってください。（P47）
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	→露出が正しく補正されているか確認してください。（P75） ●[下限シャッター速度]を速く設定すると暗く写りやすくなります。 →[下限シャッター速度]（P77）を遅く設定してください。
1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。	→撮影メニューの[オートブラケット]（P76）または[連写]（P78）を[OFF]に設定してください。 ●シーンモードの[フラッシュ連写]（P58）になっていませんか？
ピントが合わない。	●撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。 →被写体までの距離に応じたモードに設定してください。 ●ピントが合う範囲から外れています。（P19） ●手ブレや被写体ブレしています。（P18）

■ 撮影について(続き)

Q(質問)	A(回答)
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	→暗い場所で撮影するときは、シャッタースピードが遅くなるので、本機を両手でしっかり持って撮影してください。(P18) →遅いシャッタースピードで撮影するときは、セルフタイマー(P67)を使って撮影してください。
オートブラケット撮影ができない。	●内蔵メモリー/カードのメモリー残量はありますか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	●ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ (お買い上げ時は、ISO感度が[オート]に設定されているため、屋内などの撮影ではノイズが出ます) →ISO感度を低くしてください。(P69) →[カラーモード]を[ナチュラル]に設定してください。(P79) →明るい場所で撮影してください。 ●シーンモードの[高感度]に設定していませんか？ 高感度処理のため画像が少し粗くなりますが、異常ではありません。
蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	●蛍光灯やLEDなどの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。 ●極端に明るい場所や被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。
撮影時に、液晶モニターに赤っぽい横すじが出る。	●これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 写真または動画撮影に記録されます。 ●太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。
動画撮影が途中で止まる。	●動画撮影の際は、SDスピードクラスが「Class4」以上のカードを使用してください。 ●使用するカードによっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。 →「Class4」以上のカードを使用しても停止した場合や、パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用している場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとり本機でフォーマット(P46)することをお勧めします。

Q & A　故障かな？と思ったら（続き）

■ 撮影について（続き）

Q（質問）	A（回答）
被写体をロックできない。（動体追尾できない）	●周囲と異なる色の部分がある場合は、その部分をタッチするなど、被写体の特徴的な色の部分をタッチして設定してください。（P50）

■ レンズについて

Q（質問）	A（回答）
撮影された画像がゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。	●ズームの倍率によってはレンズの特性上わずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがあります。また広角では遠近感が強調されるため、画面の周辺がゆがんだように写る場合もあります。これらは異常ではありません。

■ 液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	●この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。 ●ズーム操作をしたときや、本機を動かしたときに明るさが変化した場合にもこの現象が発生することがありますが、本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	●電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	●[液晶モード]が働いていませんか？（P42）
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	●これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	●暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	●[⚡]に設定していませんか？ → フラッシュモードを変更してください。（P64） ●撮影メニューの [オートブラケット]（P76）または [連写]（P78）を設定しているときは、フラッシュは使用できません。
フラッシュが複数回発光する。	●赤目軽減（P64）にしている場合は、2回発光します。 ●シーンモードの [フラッシュ連写]（P58）になっていませんか？

■ 再生について

Q(質問)	A(回答)
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	●[回転表示](P46)を[ ]または[ ]に設定しています。
再生できない。 撮影した画像がない。	●再生モードに設定されていますか?(P32) ●内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか? →カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。 ●パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか?その場合、本機で再生することはできません。 →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。 ●[絞り込み再生]になっていませんか? →[通常再生]に設定してください。(P84)
フォルダー・ファイル番号が[ー]で表示されたり、画面が黒くなる。	●規格外の画像やパソコンで編集された画像、または他社のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか? ●撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影していませんか? →このような画像を消去するには、フォーマット(P46)してください。(他の画像も消去され、元に戻すことができませんので、よく確認してからフォーマットしてください)
カレンダー検索で、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	●本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか?(P17) ●パソコンで編集された画像や他機で撮影された画像では、カレンダー検索時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。
撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	●室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込むことがありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。
撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。	●デジタル赤目補正([ ]、[ ]、[ ])が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正されることがあります。 →フラッシュモードを[ ]、[ ]、[ ]または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P80)

■ 再生について（続き）

Q（質問）	A（回答）
画面に「サムネイル表示」と表示される。	●他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。
撮影した動画の音声が途切れる。	●動画撮影時、本機は絞りを自動的に調整します。そのときに記録された音声が途切れることがありますが、異常ではありません。
本機で撮影した動画が他機で再生できない。	●3D動画や、[AVCHD]および[MP4]で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	●正しく接続されていますか？ →テレビの入力切換を外部入力にしてください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	●テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の端が切れて表示されることがあります。
テレビで動画の再生ができない。	●カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ →AVケーブル（別売）またはHDMIミニケーブル（別売）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P102）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	→本機の[TV画面タイプ]を確認してください。（P45）
ビエラリンク（HDMI）が働かない。	●HDMIミニケーブル（別売）で正しく接続されていますか？（P102） →HDMIミニケーブル（別売）が奥まで確実に入っていることを確認してください。 ●本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？（P46） →テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください） →接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 →本機の電源を入れ直してください。 →テレビ（ビエラ）の「ビエラリンク制御（HDMI機器制御）」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。（詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください）

■ テレビ、パソコン、プリンターについて(続き)

Q(質問)	A(回答)
3D再生できない。	● 3Dに対応したテレビに正しく接続されていますか？(P23) → HDMIミニケーブル(別売)で接続してください。 → 本機の3D/2D切り換えスイッチを[3D]にしてください。
パソコンに接続して画像を転送できない。	● 正しく接続されていますか？ ● パソコンが本機を正常に認識していますか？ → 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P45、110)
パソコンにカードが認識されない。 (内蔵メモリーになっている)	→ USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。 → 1 台のパソコンに 2 つ以上の USB 端子がある場合、別の USB 端子に接続してみてください。
パソコンにカードが認識されない。 (SDXCメモリーカードを使用している)	→ お使いのパソコンが SDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/ → 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。 → 液晶モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。
LUMIX CLUB(PicMate)、YouTube、Facebookへのアップロードがうまくいかない。	→ ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。 → パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。 → ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、LUMIX CLUB(PicMate)/YouTube/Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。 → LUMIX CLUB(PicMate)(http://lumixclub.panasonic.net/jpn/)やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。
プリンターに接続して、プリントができない。	● PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。 → 本機の[USBモード]を[PictBridge (PTP)]に設定してください。(P45、114)
プリントすると、画像の端が切れる。	→ トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) → お店によっては、横縦比を[16:9]に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

Q ＆ A　故障かな？と思ったら（続き）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	以下の場合は、故障ではありませんので、安心してご使用ください。 ●電源を切った状態または再生モード時に本機を振ると、「カタカタ」音がする。（レンズが移動する音） ●電源の入り／切り、または撮影と再生の切り換え時に、「カタカタ」などの音がする。（絞り動作の音） ●撮影中にレンズから「カチッカチッ」などの音がする。 （明るさが変化した場合の絞り動作の音） このとき、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	●暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプが赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	●撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか？（P79） ●明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	●ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能･品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	●ズーム動作や本機を動かしたときなどに明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニターの画像が急激に変わることがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
時計が合っていない。	●本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。 →「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。（P17）
ズームの動きが一瞬止まる。	●EX光学ズーム時またはiAズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
ズームが最大倍率にならない。	●ズームマクロ（P73）に設定していませんか？ ズームマクロ撮影時は最大3倍までのデジタルズームになります。
ファイル番号が連続して記録されない。	●特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	●電源を切らずにバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー･ファイル番号を記憶することができません。したがって、再度電源を入れて撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録されることがあります。
タッチしたものと違うものが選択される。	●タッチパネル調整（P47）を行ってください。
放置していたら、突然デモが表示される。	●これは本機の特長を紹介する自動デモです。

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

使用上のお願い（続き）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99％以上の高精度管理をしておりますが、0.01％以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要なときがあります。（P119）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

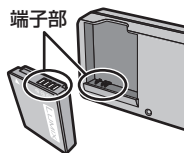
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャーについて

- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約0.1 Wの電力を消費しています）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

使用上のお願い（続き）

個人情報について

赤ちゃんモード/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P45)
- 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P101)をし、そのあと内蔵メモリーをフォーマット(P46)してください。
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、133ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。

画像データについて

不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚の取り付け時は、カード/バッテリー扉が開きません。三脚/一脚を取り外してからカード、バッテリーを取り出してください。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
  無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

使用上のお願い（続き）

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- YouTubeは、Google Inc.の登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品には、BSDライセンスに基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。
BSDライセンスの条件については、以下をご参照ください。

仕様

電源	DC 3.6 V
消費電力	1.6 W（3D撮影時） 1.6 W（2D撮影時） 1.1 W（再生時）

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	1/2.3型MOSセンサー×2　総画素数1280万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学4倍ズームレンズ ×2　f=4.5 mm〜18 mm（35 mmフィルムカメラ換算：25 mm〜100 mm）/F3.9（W端時）〜F5.7（T端時）
手ブレ補正	光学式
デジタルズーム	最大4倍
EX光学ズーム	最大7.8倍（300万画素[3M]以下時）
フォーカス	通常/AFマクロ/ズームマクロ/タッチAF/AE
	顔認識/追尾AF/23点/1点/スポット/ 画面タッチエリア（タッチAF/AE時）
撮影範囲	通常：50 cm（W端時）/1 m（T端時）〜∞ マクロ/インテリジェントオート/動画：5 cm（W端時）/1 m（T端時）〜∞ シーンモード：上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	連写速度（連写コマ数） 約2コマ/秒（最大100コマ）、約4コマ/秒（最大100コマ）、 約8コマ/秒（最大12コマ）
ISO感度（標準出力感度）	オート/インテリジェントISO/100/200/400/800/1600/3200 シーンモードの[高感度]：1600〜6400
最低被写体照度	約 14 lx（iローライト時、シャッタースピード1/30秒時）
シャッタースピード	8秒〜1/1300秒、シーンモードの[星空]：15秒、30秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出	プログラムAE、露出補正（1/3 EVステップ、−2 EV〜+2 EV）
測光方式	マルチ測光
液晶モニター	3.5型（16:9）タッチパネル液晶（約46万ドット）（視野率約100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約30 cm〜約3.5 m（W端、[ISO オート]設定時）
	オート/赤目軽減オート/強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約70 MB）/SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード
記録画素数 **写真**	画像横縦比[4:3]設定時 4000×3000画素/3264×2448画素/2560×1920画素/2048×1536画素/1600×1200画素/640×480画素/3264×2448画素（3D） 画像横縦比[3:2]設定時 4000×2672画素/3264×2176画素/2560×1712画素/2048×1360画素 /640×424画素 画像横縦比[16:9]設定時 4000×2248画素/3264×1840画素/2560×1440画素/1920×1080画素 /640×360画素/3264×1840画素（3D）

記録画素数（続き） 写真	画像横縦比[1:1]設定時 2992×2992画素/2448×2448画素/1920×1920画素/1536×1536 画素 /480×480画素
画質設定 3D 動画 2D 動画	1920×1080画素（60i記録※、カード使用時のみ） AVCHD [FSH] 設定時 1920×1080画素 （60i記録※ / 約17 Mbps、カード使用時のみ） [SH] 設定時 1280×720画素 （60p記録※ / 約17 Mbps、カード使用時のみ） ※イメージセンサーからの出力は 30コマ/秒です MP4 [FHD] 設定時 1920×1080画素 （30コマ/秒、約20 Mbps、カード使用時のみ） [HD] 設定時 1280×720画素 （30コマ/秒、約10 Mbps、カード使用時のみ） [VGA] 設定時 640×480画素（30コマ/秒、約4 Mbps）
クオリティ（圧縮率）	ファイン/スタンダード/MPO+ファイン
記録画像ファイル形式 写真 動画	JPEG（DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応）/MPO AVCHD/MP4/3D独自記録形式（サイドバイサイド）
音声圧縮形式	3D動画： Dolby Digital（2ch） AVCHD: Dolby Digital（2ch） MP4: AAC（2ch）
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0（High Speed） NTSCコンポジット オーディオライン出力（モノラル）
端子 AV OUT/DIGITAL HDMI	専用ジャック（8 pin） miniHDMI C タイプ
寸法	約 幅108.0 mm×高さ58.5 mm×奥行き24.1 mm（突起部除く）
質量	約193 g（カード、バッテリー含む） 約171 g（本体）
推奨使用温度	0 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし（日本語のみ）

専用バッテリーチャージャー: DE-A65A

定格入力	AC 100 V－240 V 50/60 Hz
入力容量	15 VA
定格出力	DC 4.2 V 0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCG10

電圧/容量	3.6 V/895 mAh

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。		気をつけていただく内容です。

⚠危険

バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う

火災・感電・ショートの原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

チャージャーは、誤った使いかたをしない

火災・感電・ショートの原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V～240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない

接触禁止

感電の原因になります。

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

⚠注意

フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離(数cm)で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ

次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの撮影について

3D撮影時は最短撮像距離より近い被写体を撮影しない

3D効果がより強く見える場合があり、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 3D撮影時の最短撮像距離は約90 cm（W端時）/約3.4 m（T端時）です。

3D撮影の際、本機の揺れに注意する

車に乗車中や歩行中などの大きな揺れは、疲労感、不快感の原因になることがあります。

- 本機を動かして撮影するときは、ゆっくりと動かしてください。
- 三脚の使用をおすすめします。

3Dの視聴について

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。

■近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。

⚠注意

3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様がご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	ー	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな？と思ったら」（122～130ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品　番	DMC-3D1
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口　365日 受付9時～20時

電 話　フリーダイヤル 0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・・・・・・・・・・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話　フリーダイヤル 0120-878-554

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やチャージャーが破損した ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	地域	電話番号	住所
北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　　0511

さくいん

あ行

赤ちゃん 57
アクセス表示 14
暗部補正 76
一脚 135
インテリジェントオートモード 27
インテリジェント ISO 69
映像出力 45
液晶調整 42
液晶パワーセーブ 44
液晶モード 42
液晶モニター 48, 120
エコモード 44
オートパワー LCD 42
オートフォーカスモード 72
オートブラケット 76
オートホワイトバランス 70
オートレビュー 44
お気に入り 96
お気に入り（絞り込み再生） 86
お手入れ 131

か行

カード 13, 14
回転表示 46
ガイドライン表示 43
顔認識 28, 50, 72
下限シャッター速度 77
画質設定（動画撮影時） 15, 82
風音低減 83
画像コピー 101
画像横縦比 67
カテゴリー選択 86
カラーモード 79
カレンダー検索 87
逆光補正 28
キャンドル 57
記録画素数 15, 68
記録可能時間（動画撮影時） 15
記録可能枚数 12, 15
クイック AF 74
空撮 59
クオリティ 68
光学ズーム 51
高感度 58
個人認証 60

さ行

再生ズーム 33
再生モード 84
撮影モード 25
撮影モード（動画撮影時） 82
サムネイル表示 128
三脚 135
サンドブラスト 59
シーンモード 54
自動シーン判別 28
自動デモ 47
自動電源 OFF 44
自動 3D 調整 47
自分撮り 55
絞り込み再生 86
写真のみ再生 86
シャッター音 41
充電 10
消去 36
ショートカット設定 39
人物 54
ズーム 51
ズームマクロ 73
スタンダード 68
スピーカー音量 41
スポーツ 56
スポット 50, 72
スライドショー 84
設定リセット 45
セルフタイマー 67
操作音 41

た行

タイトル入力 90
タッチシャッター 49
タッチズーム 52
タッチパネル 9
タッチパネル調整 47
タッチペン 9
タッチ AF/AE 50
縦位置検出機能 18
超解像 77
追尾 AF 50, 72
通常撮影モード 26
露付き 6
デジタル赤目補正 80
デジタルズーム 51, 78
手ブレ 18
手ブレ補正 80
手ブレ補正デモ 47
手持ち夜景 56
デモモード 47
テレビ再生 23, 102
動画から写真を作成 35
動画記録枠表示 43
動画再生 34
動画撮影 22, 29
動画撮影中に写真を撮影 31, 53
動画のみ再生 86
動画分割 93

時計設定 17
トラベル日付 41
トリミング（切抜き）........ 95

な行

内蔵メモリー 14, 101
認証情報編集 100

は行

バージョン表示 46
パーティー 56
ハイダイナミック 59
バッテリー 10, 13
花火 58
パノラマアシスト 55
パワー LCD 42
番号リセット 45
ビーチ 58
ビエラリンク 46, 104
ヒストグラム表示 43
日付プリント 98, 116
日付焼き込み 81
美肌 54
ピント 19, 50
ピンホール 59
ファイル番号 45, 112, 121
ファイン 68
風景 55
フォーカスアイコン 62
フォーマット 46
フォトフレーム 59
フォルダー構造 112
フォルダー番号 45, 112, 121
フラッシュ 64
フラッシュ連写 58
プリント設定 97
プリント枚数 97
プレピタモード 27
プロテクト 99
ペット 57
変身 54
星空 58
ホワイトバランス 70
ホワイトバランス微調整 71

ま行

マクロ撮影モード 73
マルチ再生 33
文字入力 63
文字焼き込み 91

や行

夜景 56
夜景 & 人物 56
夕焼け 57
雪 59
用紙サイズ 116

ら行

リサイズ（縮小）........ 94
料理 56
レイアウト 117
連写 78
レンズ 6, 132
露出補正 75

わ行

ワールドタイム 40
ワイド & ズーム同時撮影モード 53

英数字

AF 補助光 79
AF 補助光ランプ 79
AF マクロ 73
AF 連続動作 83
AVCHD 30, 82
DCF 規格 32
EX 光学ズーム 51
EZ 52
HAPPY（カラーモード）........ 79
HDAVI Control™ 104
HDMI ミニケーブル 23, 102
iA ズーム 51, 77
iISO（インテリジェント ISO）........ 69
ISO 感度 69
MP4 .... 30, 82
PHOTOfunSTUDIO 109
PictBridge（ピクトブリッジ）........ 114
SD スピードクラス 14
TV 画面タイプ 45
USB 接続ケーブル 110, 114
USB モード 45
WEB アップロード設定 88, 113
2 画面再生 87
3D 再生 23
3D 視差調整 81
3D 写真撮影 20
3D 動画撮影 22
3D（絞り込み再生）........ 86

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-638**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト

http://lumix.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT3U36
F1011HN0